刑法審査修正

第二稿

各一等ヲ加

6467
2

ワ13
6467
2

刑法

第一編　總則

第一章　法例

第一條　凡法律ニ於テ罰ス可キ罪別テ三種ト為ス

一　重罪

二　輕罪

三　違警罪

第二條　法律ニ正條ナキ者ハ何等ノ所為ト雖モ之ヲ罰スルコトヲ得ス

第三條　法律ハ頒布以前ニ係ル犯罪ニ及ホスコトヲ得ス

若シ所犯頒布以前ニ在テ未タ判決ヲ經サル

増減變換シテ行使シタル者ハ前二条ノ例ニ照

各一等ヲ加

昭和八年十二月十二日
鶴田乙丑氏
寄贈

者ハ新舊ノ法ヲ比照シ輕キニ從テ處斷ス

第四條 此刑法ハ陸海軍ニ關スル法律ヲ以テ論ス可キ者ニ施用スルヿヲ得ス

第五條 此刑法ニ正條ナクシテ他ノ法律規則ニ刑名アル者ハ各其法律規則ニ從フ

若シ他ノ法律規則ニ於テ別ニ總則ヲ揭ケサル者ハ此刑法ノ總則ニ從フ

第二章 刑例

第一節 刑名

第六條 刑ハ主刑及ヒ附加刑ト爲ス

主刑ハ之ヲ宣告ス

附加刑ハ法律ニ於テ其宣告スル者ト宣告セサル者トヲ定ム

第七條 左ニ記載シタル者ヲ以テ重罪ノ主刑ト爲ス

一 死刑
二 無期徒刑
三 有期徒刑
四 無期流刑
五 有期流刑
六 重懲役
七 輕懲役
八 重禁獄
九 輕禁獄

第八條 左ニ記載シタル者ヲ以テ輕罪ノ主刑ト爲ス

增減變換シテ行使シタル者ハ前ニ條ノ例ニ照
各一等ヲ加

刑法草案審査局

一重禁錮

二軽禁錮

三罰金

第九條 左ニ記載スル者ヲ以テ違警罪ノ主刑ト為ス

一拘留

二科料

第十條 左ニ記載スル者ヲ以テ附加刑ト為ス

一剥奪公権

二停止公権

三禁治産

四監視

五罰金

六没収

第十一條 刑ヲ執行シ及ヒ犯人ヲ検束スル方法細目ハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム

第二節 主刑處分

第十二條 死刑ハ絞首ス但規則ニ定ムル所ノ官吏臨検シ獄内ニ於テ之ヲ行フ

第十三條 死刑ハ司法卿ノ命令アルニ非サレハ之ヲ行フヿヲ得ス

第十四條 大祀令節國祭ノ日ハ死刑ヲ行フヿヲ禁ス

第十五條 死刑ノ宣告ヲ受タル婦女懐胎ナル時ハ其執行ヲ停メ分娩後一百日ヲ經ルニ非サレハ刑ヲ行ハス

増減変換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照

各一等ヲ加

島地ニ發シト改メ場ヲ設ケ否ハ流ニ近ニ任ス可シ再議

再議

島地發遣ニ地ヲ限リ居住セシム

再議

第十六條　死刑ノ遺骸ハ親屬故舊請フ者アレハ之ヲ下付ス但式ヲ用ヒテ葬ルヿヲ許サス

第十七條　徒刑ハ無期有期ヲ分タス島地ノ徒場ニ入レ定役ニ服ス

有期徒刑ハ十二年以上十五年以下ト為ス

第十八條　徒刑ノ婦女ハ島地ニ發遣セス内地ノ懲役場ニ於テ定役ニ服ス

第十九條　徒刑ノ囚六十歳ニ滿ル者ハ通常ノ定役ヲ免シ其體力相當ノ定役ニ服ス

第二十條　流刑ハ無期有期ヲ分タス島地ノ獄ニ幽閉シ定役ニ服セス

有期流刑ハ十二年以上十五年以下ト為ス

第二十一條　無期流刑ノ囚五年ヲ經過スレハ幽閉ヲ免シ島地ニ於テ地ヲ限リ居住セシムルヿヲ得

有期流刑ノ囚三年ヲ經過スル者亦同シ

第二十二條　懲役ハ内地ノ懲役場ニ入レ定役ニ服ス但六十歳ニ滿ル者ハ第十九條ノ例ニ從フ

重懲役ハ九年以上十一年以下輕懲役ハ六年以上八年以下ト為ス

第二十三條　禁獄ハ内地ノ獄ニ入レ定役ニ服セス

重禁獄ハ九年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上八年以下ト為ス

第二十四條　禁錮ハ禁錮場ニ留置シ重禁錮ハ

增減變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

定役ニ服シ輕禁錮ハ定役ニ服セス、
禁錮ハ重輕ヲ分タス十一日以上五年以下ト為シ仍ホ各本條ニ於テ其長短ヲ區別ス、

第二十五條　定役ニ服スル囚人ノ賃銭ハ分テ三ト為シ其二分ハ獄舎ノ費用ニ供シ其一分ハ本犯（囚人）ニ給與ス、但現役百日以内ハ給與ノ限ニ在ラス

第二十六條　罰金ハ二圓以上ト為シ仍ホ各本條ニ於テ其多寡ヲ區別ス

第二十七條　罰金ハ裁判確定ノ日ヨリ一月内ニ納完セシム若シ限内納完セサル者ハ一圓ヲ一日ニ折算シ之ヲ輕禁錮ニ換フ其一圓ニ満サル者ト雖モ仍ホ一日ニ計算ス
罰金ヲ禁錮ニ換フル者ハ更ニ裁判ヲ用ヒス

刑法草案審査局

撿事ノ求ニ因リ裁判所長（官）之ヲ命ス
若シ禁錮限内罰金ヲ納メタル時ハ其經過シタル日數ヲ扣除シテ禁錮ヲ免ス但親屬其他ノ者代テ罰金ヲ納メタル時亦同シ

第二十八條　拘留ハ拘留所ニ留置シ定役ニ服セス其刑期ハ一日以上十日以下ト為シ仍ホ各本條ニ於テ其長短ヲ區別ス

第二十九條　科料ハ五銭以上一圓九十五銭以下ト為シ仍ホ各本條ニ於テ其多寡ヲ區別ス

第三十條　科料ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ納完セシム若シ限内納完セサル者ハ第二十七條ノ例ニ照シ之ヲ拘留ニ換フ

第三節　附加刑處分

刑法草案審査局

増減變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第三十一條 剥奪公權ハ左ノ權ヲ剥奪ス

一 國民ノ特權

二 官吏ト為ルノ權

三 勲章年金位記貴號恩給ヲ有スルノ權

四 外國ノ勲章ヲ佩用スルノ權

五 兵籍ニ入ルノ權

六 裁判所ニ於テ證人ト為ルノ權但單ニ事實ヲ陳述スルハ此限ニ在ラス

七 後見人ト為ルノ權但親屬ノ許可ヲ得テ子孫ノ為メニスルハ此限ニ在ラス

八 分散者ノ管財人ト為リ又ハ會社及ヒ共有財産ヲ管理スルノ權

九 學校長及ヒ教師學監ト為ルノ權

後見人ハ裁判所ヨリ命スルニアラス本文ハ親族ヨリ適當ノ人ヲ…條ヲ除クヘキナリ

第三十二條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス終身公權ヲ剥奪ス

第三十三條 禁錮ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス現任ノ官職ヲ失ヒ及ヒ其刑期間公權ヲ行フヿヲ停止ス

第三十四條 輕罪ノ刑ニ於テ監視ニ付シタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス監視ノ期限間公權ヲ行フヿヲ停止ス

主刑ヲ免シテ止タ監視ニ付シタル者亦同シ

第三十五條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス其主刑ノ終ルマテ親カラ財産ヲ治ムルヿヲ禁ス但其財産ハ後見人ヲシテ之ヲ管理セシム

増減変換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加

第三十六條 流刑ノ囚幽閉ヲ免セラレタル時ハ自ラ治産ノ禁ヲ免セラレタル者ト為ス

第三十七條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス各本刑ノ短期三分ノ一ニ等シキ時間監視ニ付ス

第三十八條 輕罪ノ刑ニ附加スル監視ハ之ヲ宣告ス但各本條ニ記載スルノ外監視ニ付スルヿヲ得ス

第三十九條 死刑及ヒ無期刑ノ期満免除ヲ得タル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス五年間ノ監視ニ付ス

第四十條 監視ノ期限ハ主刑ノ終リタル日ヨリ起算ス主刑ノ期満免除ヲ得タル時ハ其捕ニ就キタル日ヨリ起算ス

若シ主刑ヲ免シテ止タ監視ニ付シタル時ハ其裁判確定ノ日ヨリ起算ス

第四十一條 監視ニ付セラレタル者其情状ニ因リ行政ノ處分ヲ以テ假ニ監視ヲ免スルヿヲ得

第四十二條 附加ノ罰金ハ各本條ニ照シ宣告

附加ノ罰金ヲ科セラレタル者一月内ニ納完セサル時ハ第二十七條ノ例ニ照シ輕禁錮ニ換ヘ主刑満限ノ後之ヲ執行ス

第四十三條 左ニ記載シタル物件ハ宣告シテ官ニ没収ス但法律規則ニ於テ別ニ没収ノ例

ヲ定メタル者ハ各其法律規則ニ従フ

一 法律ニ於テ禁制シタル物件

二 犯罪ノ用ニ供シタル物件

三 犯罪ニ因テ得タル物件

第四十四條 法律ニ於テ禁制シタル物件ハ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ没収ス犯罪ノ用ニ供シ及ヒ犯罪ニ因テ得タル物件ハ犯人ノ所有ニ係リ又ハ所有主ナキ時ノ外之ヲ没収スルヿヲ得ス

第四節 徴償處分

第四十五條 刑事ノ裁判費用ハ其全部又ハ幾分ヲ犯人ニ科ス但其費用ノ額ハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム

刑法草案審査局

後

前

第四十六條 犯人刑ニ處セラレ又ハ放免セラルト雖モ被害者ノ請求ニ對シ贓物ノ還給損害ノ賠償ヲ免カルヽヿヲ得ス

第四十七條 裁判費用贓物ノ還給（損害ノ）賠償ハ被害者ノ請求ニ因リ刑事裁判所ニ於テ民事ノ定規ニ従ヒ之ヲ審判スルヿヲ得若シ贓物犯人ノ手ニアル時ハ請求ナシト雖モ直チニ所有者ニ還付ス 註

第四十八條 數人共犯ニ係ル裁判費用贓物ノ還給損害ノ賠償ハ共犯人ヲシテ之ヲ連帶セシム

第五節 刑期計算

第四十九條 刑期ヲ計算スルニ一日ト稱スル

刑法草案審査局

増減変換シテ行使シタル者ハ前二条ノ例ニ照
各一等ヲ加

ハ二十四時ヲ以テシ一月ト稱スルハ三十日ヲ以テシ一年ト稱スルハ暦ニ從フ

[illegible]一日ニ算入シ放

第

第

アフナドヽ主業○二説アリ○一説ニ上告ノ場合ニハ本人ニ對シ檢事ト拘ラス上告後ノ確定ヨリ起算ス

再議

一説ニ上告ハ本ノ法ニ[illegible]ノ如リ檢事ト本人トヲ分ケ起算ノ法ヲ區別アリ○氏説ハ行レス

○氏場合ニハ檢事ヨリ計算シテ此日ニ付スヘシ

第五十二條　刑期限内逃走シ再ヒ捕ニ就ク者ハ其逃走ノ日數ヲ除キ前後受刑ノ日ヲ計算ス

第六節　假出獄

第五十三條　重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者獄則ヲ謹守シ悛改ノ状アル時ハ其刑期四分ノ三ヲ經過スルノ後行政ノ處分ヲ以テ假ニ出獄ヲ許スコトヲ得

無期徒刑ニ處セラレタル者十五年ヲ經過スルノ後亦同シ

流刑ノ囚ハ第二十一條ニ照シ幽閉ヲ免スルノ外假出獄ノ例ヲ用ヒス

第五十四條　徒刑ノ囚ハ假出獄ヲ許サルヽト

刑法草案審査局

情ヲ知テ變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ

各一等ヲ加

ハ二十四時ヲ以テシ一月ト稱スルハ三十日
ヲ以テシ一年ト稱スルハ暦ニ從フ
受刑ノ初日ハ時間ヲ論セス一日ニ算入シ放
免ノ日ハ刑期ニ算入セス
第五十條 刑ハ裁判確定シタル後ニ非サレハ
之ヲ執行スルヿヲ得ス

一控訴上告ノ場合ニ支確定ヨリ数フ

第五十一條 刑期ハ裁判確定シ本犯ノ自由ヲ
停止シタル日ヨリ起算ス
若シ糺問中入監シタル者ハ左ノ區別ニ從テ
其日數ヲ刑期ニ算入ス

○若シ以下不都合ナレモ姑ク原議ニ依テ此案ニ決

一 輕禁錮ニ該ル者ハ入監日數ノ四分ノ三
二 重禁錮ニ該ル者ハ入監日數ノ半
三 重罪ニ該ル者ハ入監日數ノ三分ノ一

アツナレノ主案○二説アリ○一説ニ上告ノ場合ニハ本人ト檢事ト拘ラス上告法ノ確定ヨリ起算ス
再議
一説ニ上告ハ爭ノ法ノ如リ檢事ト本人トヨリ分ケ起算ノ法區別アリ○氏説ハ行レス
○氏場合ニハ檢事ヨリ計算シテ拠日ニ付スヘシ

第五十二條 刑期限内逃走シ再ヒ捕ニ就ク者
ハ其逃走ノ日數ヲ除キ前後受刑ノ日ヲ計算
ス

第六節 假出獄

第五十三條 重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者
獄則ヲ謹守シ悛改ノ状アル時ハ其刑期四分
ノ三ヲ經過スルノ後行政ノ處分ヲ以テ假ニ
出獄ヲ許スヿヲ得
無期徒刑ニ處セラレタル者十五年ヲ經過ス
ルノ後亦同シ
流刑ノ囚ハ第二十一條ニ照シ幽閉ヲ免スル
ノ外假出獄ノ例ヲ用ヒス
第五十四條 徒刑ノ囚ハ假出獄ヲ許サヽル、ト

增減變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照
各一等ヲ加

第五十
若シ
一 犯
宣
時
二 檢事
ト
三 上告
其

ト稱スルハ三十日
暦ニ従フ
ス一日ニ算入シ放

タル後ニ非サレハ
〔前〕上告ノ場合モ又確定ヨリ数フ
定シ本犯ノ自由ヲ

ハ左ノ區別ニ従テ
右ニ以下不都合ナルモ號リ総議ニ係ル故案ニ従
日數ノ四分ノ三
日數ノ半
數ノ三分ノ一

シ再ヒ捕ニ就ク者
後受刑ノ日ヲ計算

ニ處セラレタル者
ル時ハ其刑期四分
ノ處分ヲ以テ假ニ

者十五年ヲ經過ス

照シ幽閉ヲ免スル

出獄ヲ許サルヽト
前ニ条ノ例ニ照

第五十一條 刑期ハ刑名宣告ノ日ヨリ起算ス
若シ上告ヲ為シタル者ハ左ノ例ニ従フ
一 犯人自ラ上告シテ破毀ヲ得タル者ハ前判
宣告ノ日ヨリ起算ス若シ其上告不當ナル
時ハ後判宣告ノ日ヨリ起算ス
二 檢事ノ上告ニ係ル者ハ其破毀ヲ得ルト否
トヲ分タス前判宣告ノ日ヨリ起算ス
三 上告中保釋ヲ得又ハ責付セラレタル者ハ
其日數ヲ刑期ニ算入スルヿヲ得ス

雖モ仍ホ島地ニ居住セシム

第五十五條　假出獄ヲ許サレタル時ハ自ラ治産ノ禁ヲ免シタル者トス但本刑期限内特別ニ定メタル監視ニ付ス

第五十六條　假出獄中更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ直チニ出獄ヲ停止シ出獄中ノ日數ハ刑期ニ算入スルヿヲ得ス

第五十七條　刑期間更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ假出獄ヲ許サス

第七節　期滿免除

第五十八條　刑ノ執行ヲ遁レタル者法律ニ定メタル期限ヲ經過スルニ因テ期滿免除ヲ得

第五十九條　主刑ハ左ノ年限ニ從テ期滿免除ヲ得

一　死刑ハ三十年
二　無期徒流刑ハ二十五年
三　有期徒流刑ハ二十年
四　重懲役重禁獄ハ十五年
五　輕懲役輕禁獄ハ十年
六　禁錮罰金ハ七年
七　拘留科料ハ一年

第六十條　剥奪公權停止公權及ヒ監視ハ期滿免除ヲ得ス

附加ノ罰金ハ主刑ト共ニ期滿免除ヲ得

沒收ハ五年ヲ經テ期滿免除ヲ得但禁制物ハ期滿免除ノ限ニ在ラス

增減變換シ二行使シタル者ハ前十條ノ例ニ照
合一等ヲ加

第六十一條　期滿免除ハ刑ノ執行ヲ遁レタル日ヨリ起算ス若シ捕ニ就キ再ヒ逃走シタル時ハ其逃走ノ日ヨリ起算シ闕席裁判ニ係ル時ハ宣告ノ日ヨリ起算ス

若シ逮捕ヲ命シタル時ハ捕縛狀ヲ出シタル日ヨリ起算ス

第六十二條　刑ノ執行ヲ遁レタル者ニ對シ逮捕ヲ命シタル時ハ最終ノ捕縛狀ヲ出シタル日ヨリ期滿免除ヲ起算ス

第八節　復權

第六十三條　公權ヲ剝奪セラレタル者ハ主刑ノ終リタル日ヨリ五年ヲ經過スルノ後其情狀ニ因テ將來ノ公權ヲ復スルヿヲ得

主刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ監視ニ付シタル日ヨリ五年ヲ經過スルノ後亦同シ

第六十四條　大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ直チニ復權ヲ得特赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ赦狀中ニ記載スルニ非サレハ復權ヲ得ス

赦ニ因テ復權ヲ得タル者ハ自ラ監視ヲ免シタル者トス

第六十五條　復權ハ勅裁ニ非サレハ之ヲ得可カラス

第三章　加減例

第六十六條　法律ニ於テ刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ後ノ數條ニ記載シタル例ニ照シテ加減ス但加ヘテ死刑ニ入ルヿヲ得ス

增減變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照
各一等ヲ加

第六十七條 重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加
減ス
一死刑
二無期徒刑
三有期徒刑
四重懲役
五輕懲役

第六十八條 國事ニ關スル重罪ノ刑ハ左ノ等
級ニ照シテ加減ス
一死刑
二無期流刑
三有期流刑
四重禁獄
五輕禁獄

第六十九條 輕懲役ニ該ル者減輕ス可キ時ハ
二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處スルヲ以テ
一等ト為ス
輕禁獄ニ該ル者減輕ス可キ時ハ二年以上五
年以下ノ輕禁錮ニ處スルヲ以テ一等ト為ス

第七十條 禁錮罰金ニ該ル者減輕ス可キ時ハ
各本條ニ記載シタル刑期金額ノ四分ノ一ヲ
減スルヲ以テ一等ト為シ其加重ス可キ時モ
亦四分ノ一ヲ加フルヲ以テ一等ト為ス
輕罪ノ刑ハ加ヘテ重罪ニ入ルヲ得ス但禁
錮ハ加ヘテ七年ニ至ルヲ得

第七十一條 禁錮ヲ減盡シタル時ハ拘留ニ處

増減變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ刑ニ照
各一等ヲ加

盡及ノ二字ヲ除ク
ノ字眼

シ罰金ヲ減盡シタル時ハ科料ニ處ス禁錮罰
金ヲ減シテ其短期十日以下寡數一圓九十五
錢以下ニ及フ時ハ亦拘留科料ニ處スルヿヲ
得

第七十二條　拘留科料ニ該ル者加減ス可キ時
ハ禁錮罰金ノ例ニ照シ其四分ノ一ヲ加減ス
ルヲ以テ一等ト為ス
違警罪ノ刑ハ加ヘテ輕罪ニ入ルヿヲ得ス但
拘留ハ加ヘテ十二日ニ至ルヿヲ得減シテ一
日以下ニ降スヿヲ得ス
科料ハ加ヘテ二圓四十錢ニ至ルヿヲ得減シ
テ五錢以下ニ降スヿヲ得ス

第七十三條　禁錮拘留ヲ加減スルニ因テ其期
限ニ零數ヲ生シ一日ニ満サル時ハ之ヲ除棄
ス

第七十四條　附加ノ罰金ハ主刑ニ從テ加減シ
其金額ノ四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト
為ス若シ減盡シタル時ハ止タ主刑ヲ科ス

第四章　不論罪及ヒ減輕

第一節　不論罪及ヒ宥恕減輕

第七十五條　抗拒ス可カラサル強制ニ遇ヒ已
其意ニ非
ムヿヲ得サルニ出タルノ所為ハ其罪ヲ論セ
ス
天災又ハ意外ノ變ニ因リ避ク可カラサル危
難ニ遇ヒ自己若クハ親屬ノ身躰ヲ防衛スル
ニ出タルノ所為亦同シ

僧府変換シテ行使シタル者ハ前ニ条ノ例ニ照
各一等ヲ加

第七十六條　本屬長官ノ命令ニ從ヒ其職務ヲ以テ爲シタル者ハ其罪ヲ論セス

第七十七條　罪ヲ犯ス意ナキノ所爲ハ其罪ヲ論セス但法律ニ於テ別ニ疎虞懈怠ノ罪ヲ定メタル者ハ此限ニ在ラス

罪ト爲ル可キ事實ヲ知ラスシテ犯シタル者ハ其罪ヲ論セス

罪本重カル可クシテ犯ス時知ラサル者ハ其重キニ從テ論スルヿヲ得ス

法律規則ヲ知ラサルヲ以テ犯スノ意ナシト爲スヿヲ得ス

第七十八條　罪ヲ犯ス時知覺精神ノ喪失ニ因テ是非ヲ辨別セサル者ハ其罪ヲ論セス

第七十九條　罪ヲ犯ス時十二歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ論セス但滿八歳以上ノ者ハ情狀ニ因リ滿十六歳ニ過キサル時間之ヲ懲治場ニ留置スルヿヲ得

第八十條　罪ヲ犯ス時滿十二歳以上十六歳ニ滿サル者ハ其所爲是非ヲ辨別シタルト否トヲ審案シ辨別ナクシテ犯シタル時ハ其罪ヲ論セス但情狀ニ因リ滿二十歳ニ過キサル時間之ヲ懲治場ニ留置スルヿヲ得

若シ辨別アリテ犯シタル時ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ二等ヲ減ス

第八十一條　罪ヲ犯ス時滿十六歳以上二十歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ一等ヲ

増減變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照
各一等ヲ加

減ス

第八十二條　瘖啞者罪ヲ犯シタル時ハ其罪ヲ論セス但情狀ニ因リ五年ニ過キサル時間之ヲ懲治場ニ留置スルヿヲ得

第八十三條　違警罪ハ滿十六歲以上二十歲ニ滿サル者ト雖モ其罪ヲ宥恕スルヿヲ得ス

滿十二歲以上十六歲ニ滿サル者ハ宥恕シテ一等ヲ減ス十二歲ニ滿サル者及ヒ瘖啞者ハ其罪ヲ論セス

第八十四條　此節ニ記載スルノ外特別ノ不論罪宥恕減輕ハ各本條ニ於テ之ヲ記載ス

第二節　自首減輕

第八十五條　罪ヲ犯シ事未タ發覺セサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ニ一等ヲ減ス

但謀故殺ニ係ル者ハ自首減輕ノ限ニ在ラス

第八十六條　財産ニ對スル罪ヲ犯シタル者自首シテ其贓物ヲ還給シ損害ヲ賠償シタル時ハ自首減等ノ外仍ホ本刑ニ二等ヲ減ス其全部ヲ還償セスト雖モ半數以上ヲ還償シタル時ハ一等ヲ減ス

第八十七條　財産ニ對スル罪ヲ犯シ被害者ニ首服シタル者ハ官ニ自首スルト同ク前二條ノ例ニ照シテ處斷ス

第八十八條　此節ニ記載スルノ外本條別ニ自首ノ例ヲ揭ケタル者ハ各其本條ニ從フ

第三節　酌量減輕

增減變換シテ行使シタル者ハ前十二條ノ例ニ照
各一等ヲ加

按ズルニ上告中ニ再犯シタル者ハ再犯ナラス期満免除ハ治罪法ノ部ニ属ス然モ此十篇ノ期満免除ハ別ニ治罪法ニ設ケテ刑法ト同様ニ立ルヘシ

第八十九條　重罪輕罪違警罪ヲ分タス所犯情狀原諒ス可キ者ハ酌量シテ本刑ヲ減輕スルコトヲ得

法律ニ於テ本刑ヲ加重シ又ハ減輕ス可キ者ト雖モ其酌量ス可キ時ハ仍ホ之ヲ減輕スルコトヲ得

第九十條　酌量減輕ス可キ者ハ本刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

第五章　再犯加重

第九十一條　先ニ重罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯重罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第九十二條　先ニ重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯輕罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第九十三條　先ニ違警罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯違警罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

但一年内再ヒ其違警罪裁判所ノ管轄内ニ於テ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルコトヲ得ス

第九十四條　再犯加重ハ初犯ノ裁判確定ノ後ニ非サレハ之ヲ論スルコトヲ得ス

第九十五條　刑期限内再ヒ罪ヲ犯スニ因リ刑ヲ宣告シタル時ハ先ツ其定役ニ服ス可キ者ヲ執行シ定役ニ服セサル者ヲ後ニス若シ初犯再犯共ニ定役ニ服スル刑ニ該ル時又ハ共ニ定役ニ服セサル刑ニ該ル時ハ先ツ其重キ者ヲ執行ス

増減変換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

刑法草案審査局

其罰金科料ニ該ル者ハ順序ニ拘ハラス各自ニ之ヲ徴収ス

第九十六條 陸海軍裁判所ニ於テ處決ヲ經タル者再ヒ重罪輕罪ヲ犯シタル時ハ初犯ノ罪常律ニ從ヒ處斷シタル者ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルヿヲ得ス

第九十七條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ再ヒ罪ヲ犯スト雖モ再犯ヲ以テ論スルヿヲ得ス

第九十八條 三犯以上ノ者ト雖モ其加重ノ法ハ再犯ノ例ニ同シ

第六章 加減順序

第九十九條 犯罪ノ情狀ニ因リ總則ニ照シ同時ニ本刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ左ノ順序ニ從テ其刑名ヲ定ム但從犯及ヒ未遂犯罪ノ減等其他各本條ニ記載スル特別ノ加重減輕ハ其加減シタル者ヲ以テ本刑ト為ス

一 再犯加重
二 宥恕減輕
三 自首減輕
四 酌量減輕

第七章 數罪俱發

第百條 重罪輕罪ヲ犯シ未タ判決ヲ經ス二罪以上俱ニ發スル時ハ一ノ重キニ從テ處斷ス

重罪ノ刑ハ刑期ノ長キ者ヲ以テ重ト為シ刑期ノ等キ者ハ定役アル者ヲ以テ重ト為ス

初判以前ノ後ニ差元氏ハ初犯ト云義ニ復ヒ再犯ハ別ニ論ス刑期ノ長キ者ト云フハ懲役徒刑合せ一等ノ全體ヲ云フ

增減變換シテ行使シタル者ハ前十条ノ例ニ照シ
各一等ヲ加フ

刑法草案審査局
刑法草案審査局

輕罪ノ刑ハ其所犯情状最重キ者ニ從テ處斷ス

第百一條 違警罪二罪以上俱ニ發スル時ハ各自ニ其刑ヲ科ス若シ重罪又ハ輕罪ト俱ニ發スル時ハ一ノ重キニ從フ

第百二條 一罪先ニ發シ已ニ判決ヲ經テ餘罪後[illegible]其[illegible]從[illegible]已ニ納完シタル[illegible]折算シテ後發ノ刑期ニ算入ス

第百三條 數罪俱ニ發シ一ノ重キニ從フ時ト雖モ其沒收及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

刑法草案審査局

增減變換シテ行使シタル者ハ前ニ條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

刑法草案審査局

第八章 數人共犯

第一節 正犯

第百四條 二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆正犯ト為シ各自ニ其刑ヲ科ス

第百五條 詐欺脅迫贈與結約威權其他故意ヲ以テ人ヲ教唆シテ重罪輕罪ヲ犯サシメタル者亦正犯ト為ス

第百六條 正犯ノ身分ニ因リ別ニ刑ヲ加重ス可キ時ハ他ノ正犯從犯及ヒ教唆者ニ及ホスヿヲ得ス

第百七條 犯人ノ多數ニ因リ刑ヲ加重ス可キ時ハ教唆者ヲ算入シテ多數ト為スヿヲ得ス

第百八條 事ヲ指定シテ犯罪ヲ教唆スルニ當

第十七 等キノ字再載

輕罪ノ刑ハ其所犯情状最重キ者ニ従テ處斷ス

第百一條 違警罪二罪以上倶ニ發スル時ハ各自ニ其刑ヲ科ス若シ重罪又ハ輕罪ト倶ニ發スル時ハ一ノ重キニ従フ

第百二條 一罪前ニ發シ已ニ判決ヲ經テ餘罪後ニ發シ其輕ク若クハ等キ者ハ之ヲ論セス其重キ者ハ更ニ之ヲ論シ前發ノ刑ヲ以テ後發ノ刑ニ[通]算入ス但前發ノ刑罰金科料ニ該リ已ニ納完シタル者ハ第二十七條ノ例ニ照シ折算シテ後發ノ刑期ニ算入ス

第百三條 數罪倶ニ發シ一ノ重キニ従フ時ト雖モ其沒収及ヒ徴償ノ處分ハ各本法ニ従フ

第八章 數人共犯

第一節 正犯

第百四條 二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆正犯ト為シ各自ニ其刑ヲ科ス

第百五條 詐欺脅迫贈與結約威權其他故意ヲ以テ人ヲ教唆シテ重罪輕罪ヲ犯サシメタル者亦正犯ト為ス

第百六條 正犯ノ身分ニ因リ別ニ刑ヲ加重ス可キ時ハ他ノ正犯從犯及ヒ教唆者ニ及ホスコヲ得ス

第百七條 犯人ノ多數ニ因リ刑ヲ加重ス可キ時ハ教唆者ヲ算入シテ多數ト為スコヲ得ス

第百八條 事ヲ指定シテ犯罪ヲ教唆スルニ當

刑法草案審査局

最重キ者ニ従テ處斷

上倶ニ發スル時ハ各
罪又ハ輕罪ト倶ニ發
フ
已ニ判決ヲ經テ餘罪
等キ者ハ之ヲ論セス
シ前發ノ刑ヲ以テ後
ノ刑罰金科料ニ該リ
二十七條ノ例ニ照シ
算入ス
一ノ重キニ従フ時ト
處分ハ各本法ニ從フ

若シ前發ノ罪ヲ判決スル時未タ發覺セサル罪
再犯ノ罪ト倶ニ發シタル者ハ其再犯ト比較シ
一ノ重ニ從ヒ前發ノ刑ヲ通算セス

罪ヲ犯シタル者ハ皆
ヲ科ス
結約威權其他故意ヲ
輕罪ヲ犯サシメタル

因リ別ニ刑ヲ加重ス
及ヒ教唆者ニ及ホス

因リ刑ヲ加重ス可キ
多數ト為スヿヲ得ス
犯罪ヲ教唆スルニ當

刑法草案審査局

再議
適望ノ所ニハ
從犯ナシ
意外ノ事ヲ犯ス
ル時ハ正犯ノ
窃盗犯ヲ知リタル從犯ニシテ若シ正犯臨時強盗ヲ為シタル時ハ從ハ知ラサル所故ニ從ハ其罪トナルヘシ

リ犯人教唆ニ乘シ其指定シタル以外ノ罪ヲ
犯シ又ハ其現ニ行フ所ノ方法教唆者ノ指示
シタル所ト殊ナル時ハ左ノ例ニ照シテ教唆
者ヲ處斷ス
一 所犯教唆シタル罪ヨリ重キ時ハ止タ其指
定シタル罪ニ從テ刑ヲ科ス
二 所犯教唆シタル罪ヨリ軽キ時ハ現ニ行フ
所ノ罪ニ從テ刑ヲ科ス
[illegible]節 從犯
第百九[illegible]ヲ給與シ又ハ
誘導[illegible]
助シ犯罪ヲ容[illegible]
シ正犯ノ刑ニ一等ヲ減ス

[illegible]

刑法草案審査局

犯人ト改メテ文例ヲ一ニスヘシ

第百十條 身分ニ因リ刑ヲ加重ス可キ者從犯
ト為ル時ハ其重キニ從テ一等ヲ減ス
正犯ノ身分ニ因リ刑ヲ減免ス可キ時ト雖モ
從犯ノ刑ハ其軽キニ從テ減免スルコトヲ得ス
第九章 未遂犯罪
第百十一條 罪ヲ犯サンコトヲ謀リ又ハ其豫備
ヲ為スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル者ハ本條
別ニ刑名ヲ記載スルニ非サレハ其刑ヲ科セ
ス
第百十二條 重罪ヲ犯サントシテ已ニ其事ヲ
行フト雖モ本犯意外ノ障礙若クハ舛錯ニ因
リ未タ遂ケサル時ハ已ニ遂ケタル者ノ刑ニ
一等又ハ二等ヲ減ス

増減變換シテ行使シタル者ハ前條ノ例ニ照
各一等ヲ加

刑法草案審査局

再議
逃亡ノ家ニ入ル従犯ナシ
意外ノコヲ犯シタル時ハ所行強盗ノ情ヲ知リタル従犯ニテ若シ正犯臨時強盗ヲ為シタル時ハ従ノ知ラサル所故ニ従ハ其罪トナルベシ

リ犯人教唆ニ乗シ其指定シタル以外ノ罪ヲ
犯シ又ハ其現ニ行フ所ノ方法教唆者ノ指示
シタル所ト殊ナル時ハ左ノ例ニ照シテ教唆
者ヲ處斷ス
一　所犯教唆シタル罪ヨリ重キ時ハ止タ其指
定シタル罪ニ従テ刑ヲ科ス
二　所犯教唆シタル罪ヨリ軽キ時ハ現ニ行フ
所ノ罪ニ従テ刑ヲ科ス

第二節　従犯

第百九條　犯罪（重罪軽罪ヲ犯スノ）ノ情ヲ知テ器具ヲ給與シ又ハ
誘導指示シ其他豫備ノ所為ヲ以テ正犯ヲ幇
助シ犯罪ヲ容易ナラシメタル者ハ従犯ト為
シ正犯ノ刑ニ一等ヲ減ス

但正犯現
止タ其知

犯人ト改メテ文例ヲ一ニスヘシ

第百十條　身分ニ因リ刑ヲ加重ス可キ者従犯
ト為ル時ハ其重キニ従テ一等ヲ減ス
正犯ノ身分ニ因リ刑ヲ減免ス可キ時ト雖モ
従犯ノ刑ハ其軽キニ従テ減免スルコトヲ得ス

第九章　未遂犯罪

第百十一條　罪ヲ犯サンコトヲ謀リ又ハ其豫備
ヲ為スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル者ハ本條
別ニ刑名ヲ記載スルニ非サレハ其刑ヲ科セ
ス

第百十二條　重罪ヲ犯サントシテ已ニ其事ヲ
行フト雖モ本犯意外ノ障礙若クハ舛錯ニ因
リ未タ遂ケサル時ハ已ニ遂ケタル者ノ刑ニ
一等又ハ二等ヲ減ス

情状変換シテ行使シタル者ハ前条ノ例ニ照
各一等ヲ加

刑法草案審査局

指定シタル以外ノ罪ヲ
所ノ方法教唆者ノ指示
ハ左ノ例ニ照シテ教唆

ヨリ重キ時ハ止タ其指
刑ヲ科ス
ヨリ軽キ時ハ現ニ行フ
科ス

知テ器具ヲ給與シ又ハ
ノ所為ヲ以テ正犯ヲ幇
シメタル者ハ從犯ト為
減ス

ハ從ノ知ラサル所故ニ從ハ無罪トナルヘシ

刑ヲ加重ス可キ者從犯
從テ一等ヲ減ス
ヲ減免ス可キ時ト雖モ
從テ減免スルヿヲ得ス

ンヿヲ謀リ又ハ其豫備
事ヲ行ハサル者ハ本條
ニ非サレハ其刑ヲ科セ

サントシテ已ニ其事ヲ
ノ障礙若クハ舛錯ニ因
已ニ遂ケタル者ノ刑ニ

但正犯現ニ行フ所ノ罪從犯ノ知ル所ヨリ重キ時ハ
止タ其知ル所ノ罪ニ照シ一等ヲ減ス

第百十三條　重罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ前條ノ例ニ照シテ處斷ス

輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ本條別ニ記載スルニ非サレハ前條ノ例ニ照シテ處斷スルコトヲ得ス

違警罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ其罪ヲ論セス

ニ記載シタル本宗及ヒ姻族ノ親屬ト云フ但本條別ニ親屬ノ目ヲ掲ケタル者ハ此限ニ在ラス

一夫婦祖父母父母

二配偶者ノ祖父母父母

三子孫及ヒ其配偶者

四兄弟姊妹伯叔父姑舅姨姪甥及ヒ其配偶者

五配偶者ノ兄弟姊妹伯叔父姑舅姨姪甥

本婦ノ前夫ノ子

配偶者ノ前婚ノ子

第二八再議
刪ラサレハ親屬
義務牛語ナル

第百十六條　前條ニ記載シタル親屬中祖父母ト稱スルハ高曾祖父母同シ父母ト稱スルハ養繼父母同シ子孫ト稱スルハ嫡養庶子孫及ヒ曾玄孫同シ

本宗外戚ノ祖父母

外孫

情状変換レテ行使シタル者ハ前ニ條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

刑法草案審査局

第百十三條　輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ本條別ニ記載スルニ非サレハ前條ノ例ニ照シテ其罪ヲ論スルヿヲ得ス

第百十四條　違警罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ其刑ヲ科セス

第十章　親屬例

第百十五條　此刑法ニ於テ親屬ト稱スルハ左ニ記載シタル本宗及ヒ姻族ノ親ヲ云フ但本條別ニ親屬ノ目ヲ掲ケタル者ハ此限ニ在ラス

一　夫婦祖父母父母

二　配偶者ノ祖父母父母

三　子孫及ヒ其配偶者

四　兄弟姉妹伯叔父姑舅姨姪甥及ヒ其配偶者

五　配偶者ノ兄弟姉妹伯叔父姑舅姨姪甥

~~本婦ノ前夫ノ子~~

~~配偶者ノ前婚ノ子~~

第六八再議
刪ラサレハ親屬
義務ノ條ニ移ス

第百十六條　前條ニ記載シタル親屬中祖父母ト稱スルハ〔本宗外戚ノ祖父母〕高曾祖父母同シ父母ト稱スルハ養繼〔嫡庶〕父母同シ子孫ト稱スルハ養〔庶〕子孫〔外孫〕及ヒ曾玄孫同シ

第二編　公益ニ關スル重罪輕罪

第一章　皇室ニ對スル罪

第百十六條　天皇皇后及ヒ皇太子ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者ハ死刑ニ處ス

第百十七條　天皇皇后及ヒ皇太子ニ對シ不敬ノ所為アル者ハ三月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

山陵ニ對シ不敬ノ所為アル者亦同シ

第百十八條　皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ死刑ニ處ス其危害ヲ加ヘントシタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第百十九條　皇族ニ對シ不敬ノ所為アル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上

増減變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

刑法草案審査局

五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百二十條　此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ附ス

第二章　國事ニ關スル罪

第一節　内乱ニ關スル罪

第百二十一條　政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊乱スルコトヲ目的ト為シ内乱ヲ起シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處断ス

一　首魁及ヒ教唆者ハ死刑ニ處ス

二　群衆ノ指揮ヲ為シ其他樞要ノ職務ヲ為シタル者ハ無期流刑ニ處シ其情軽キ者ハ有期流刑ニ處ス

三　兵器金穀ヲ資給シタル者又ハ諸般ノ職務ヲ為シタル者ハ重禁獄ニ處シ其情軽キ者ハ軽禁獄ニ處ス

四　教唆ニ乗シテ附和随行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雑役ニ供シタル者ハ二年以上五年以下ノ軽禁錮ニ處ス

第百二十二條　内乱ヲ起スノ目的ヲ以テ兵器弾薬船舶金穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠シタル者ハ已ニ内乱ヲ起シタル者ト同刑ニ處ス

第百二十三條　政府ヲ變乱スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ挙ルニ至ラスト雖モ内乱ト同ク論シ其教唆者及ヒ下手者ヲ死刑ニ處ス

情願変換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ
各一等ヲ加フ

第百二十四條　前三條ニ記載シタル罪ハ未遂犯罪ノ時ニ於テ乃チ本刑ヲ科ス

第百二十五條　兵隊ヲ招募シ又ハ兵器金穀ヲ準備シ其他内乱ノ豫備ヲ為シタル者ハ第百二十一條ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

内乱ノ陰謀ヲ為シ未タ豫備ニ至ラサル者ハ各二等ヲ減ス

第百二十六條　内乱ノ豫備又ハ陰謀ヲ為スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視ニ附ス

第百二十七條　内乱ノ前後ニ於テ情ヲ知テ犯人ニ聚會所ヲ（給）與ヘ又ハ犯人ヲ隱匿（蔵）（若クハ隱避セシメ）シタル者ハ二年以上五年以下ノ軽禁錮ニ處ス但犯人ノ親属ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第百二十八條　内乱ニ乗シテ人ノ身體財産ニ對シ内乱ノ目的ニ關セサル重罪軽罪ヲ犯シタル者ハ通常ノ刑ニ照シ重キニ從テ處断ス

第二節　外患ニ關スル罪

第百二十九條　外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又ハ外國（外）交戰中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背叛シテ敵兵ニ附属シタル者ハ死刑ニ處ス

第百三十條　交戰中敵兵ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ本國及ヒ同盟國ノ都府城塞又ハ兵器彈藥船艦其他軍事ニ關スル土地家屋物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ處

増減變換シテ行使シタル者ハ前ニ條ノ例ニ照
各一等ヲ加

刑法草案審査局

ス

第百三十一條 本國及ヒ同盟國ノ軍情機密ヲ敵國ニ漏泄シ若クハ兵隊屯集ノ要地又ハ道路ノ險夷ヲ敵國ニ通知シタル者ハ無期流刑ニ處ス

敵國ノ間諜ヲ内地ニ誘導シ又ハ之ヲ藏匿シタル者〔亦〕又同シ

第百三十二條 陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ供給シ及ヒ工作ヲ為ス者交戰ノ際敵國ニ通謀シ又ハ其賂遺ヲ收受シテ故サラニ命令ニ違背シ軍備ノ缺乏ヲ致シタル時ハ有期流刑ニ處ス

第百三十三條 外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者ハ有期流刑ニ處ス其豫備ニ止ル者ハ一等又ハ二等ヲ減ス

第百三十四條 外國交戰ノ際本國ニ於テ局外中立ヲ布告シタル時其布告ニ違背シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百三十五條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ附ス

第三章 靜謐ヲ害スル罪

第一節 兇徒聚衆ノ罪

第百三十六條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀リ官吏ノ説諭ヲ受クルト雖モ仍ホ解散セサ

刑法草案審査局

增減變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ
各一等ヲ加

ル者首魁及ヒ教唆者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス其餘ノ附從（附和隨行スル者）ハ二圓以上五圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十七條　兇徒多衆ヲ嘯聚シテ官廳ニ喧閙シ官吏ニ强逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲ爲シタル者首魁及ヒ教唆者ハ重懲役ニ處ス其嘯聚ニ應シ煽動シテ勢ヲ助ル者ハ輕懲役ニ處シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス附和隨行スル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十八條　暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家屋船舶倉庫等ヲ焼燬シタル時ハ現ニ手ヲ下シ及ヒ火ヲ放ツ者ヲ以テ死刑ニ處ス首魁及ヒ教唆者情ヲ知テ制セサル者ハ同刑ニ處ス

第二節　官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

第百三十九條　官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ爲ス可カラサル事件ヲ行ハシメタル者亦同シ

第百四十條　前條ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

第百四十一條　官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於

情度変換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加

刑法草案審査局

形容若クハ言語ヲ以テ侮辱シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其目前ニ非スト雖モ刊行ノ文書圖畫又ハ公然ノ演說ヲ以テ侮辱シタル者亦同シ

第三節　囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

第百四十二條　已決ノ囚徒逃走シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ獄舍獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ為シテ逃走シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス但無期徒刑ノ囚徒此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ獄則ニ依テ處分ス

第百四十三條　已決囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト雖モ再犯ノ例ニ照シ加重ス可カラス其刑期內再ヒ逃走シタル者ハ再犯ヲ以テ論ス

第百四十四條　未決ノ囚徒入監中逃走シタル者ハ第百四十二條ノ刑ニ同シ但原犯ノ罪ヲ判決スル時ニ於テ數罪俱發ノ例ニ照シ處斷ス

第百四十五條　囚徒三人以上通謀シテ逃走シタル時ハ第百四十二條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加フ

第百四十六條　囚徒ヲ逃走セシムル為メ兇器其他ノ器具ヲ與ヘ又ハ逃走ノ方法ヲ授ケタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二

情僞變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加

圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ囚徒ノ逃走ヲ致シタル時ハ一等ヲ加フ

第百四十七條 囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ軽懲役ニ處ス

第百四十八條 囚徒ヲ看守シ又ハ護送ノ任アル者囚徒ニ通謀シ若クハ故意ヲ以テ逃走セシメタル時ハ前條ノ刑ニ同シ

第百四十九條 前數條ニ記載シタル軽罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

第百五十條 看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十一條 犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ヒ監視ニ付セラレタル者ナルヿヲ知テ故サラニ之ヲ藏匿シ若クハ隠避セシメタル者ハ十一日以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ナルヿヲ知テ藏匿シ又ハ隠避セシメタル時ハ一等ヲ

増減変換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照
各一等ヲ加

加フ

第百五十二條　他人ノ罪ヲ免カレシメンヿヲ圖リ其罪証ト為ル可キ物件ヲ隱蔽シタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十三條　前二條ノ罪ヲ犯シタル者若シ本犯ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第四節　附加刑ノ執行ヲ逭ルヽ罪

第百五十四條　公權ヲ剥奪セラレ又ハ公權ヲ停止セラレタル者其權ヲ行ヒタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十五條　監視ニ付セラレタル者其規則ニ違背シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

第百五十六條　前二條ノ罪ハ其刑期内再ヒ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルヿヲ得ス

第五節　私ニ兵器弾薬ヲ製造シ及ヒ所有スル罪

第百五十七條　官命ヲ受ス又ハ官許ヲ得スシテ陸海軍ノ用ニ供スル兵器弾薬ヲ製造シ又ハ私ニ製造ス可カラサル破裂質ノ物品ヲ製造シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其之ヲ輸入シタル者亦同シ

増減変換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

再議
原案ノ通

前項ノ物品ヲ私ニ販賣シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十八條 前條ノ犯罪ニ關スルト雖モ職工又ハ雇人ニシテ止タ正犯ノ使令ニ供シタル者ハ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

第百五十九條 前二條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第百六十條 第百五十七條ニ記載シタル物品（陸海軍ノ用ニ供スル兵械彈藥及ヒ其他破裂ス可キ物品）ヲ私ニ所有シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス（イキル）

第百六十一條 第百五十七條ニ記載シタル物品ノ製造ニ供シタル器械ニシテ單ニ其用ニ供ス可キ者ハ何人ノ所有タルヲ問ハス之ヲ沒收ス

第六節 往來通信ヲ妨害スル罪

第百六十二條 故意ヲ以テ道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シテ往來ヲ妨害シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百六十三條 偽計又ハ威力ヲ以テ郵便ヲ妨害シ若クハ之ヲ阻止シタル者ハ前條ノ刑ニ同シ

第百六十四條 故意ヲ以テ電信ノ器械柱木ヲ損壞シ又ハ條線ヲ切斷シテ電氣ヲ不通ニ致

増減変換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ
五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
若シ器械柱木等ヲ損壞シテ電信ノ妨害ヲ為
スト雖モ不通ニ至ラサル者ハ一等ヲ減ス
第百六十五條　滊車ノ往來ヲ妨害スル為メ鐵
道及ヒ其標識ヲ損壞シ其他危險ナル障碍ヲ
為シタル者ハ重懲役ニ處ス
第百六十六條　船舶ノ往來ヲ妨害スル為メ燈
臺浮標其他航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損
壞シ又ハ詐偽ノ標識ヲ點示シタル者ハ前條
ノ刑ニ同シ
第百六十七條　前數條ニ記載シタル罪若シ其
事務ニ関スル官吏及ヒ雇人職工自ラ犯シタル

再議

時ハ各本條ノ刑ニ照シ一等ヲ加フ
第百六十八條　第百六十二條ニ記載シタル罪
ヲ犯シ因テ人ヲ殺傷シタル者ハ謀殺ノ毆
打創傷ノ各本條ノ刑ニ照シ重キニ從テ處斷ス
第百六十九條　第百六十五條第百六十六條ノ
罪ヲ犯シ因テ滊車ヲ顛覆シ又ハ船舶ヲ覆没
シタル時ハ無期徒刑ニ處シ人ヲ死ニ致シタ
ル時ハ死刑ニ處ス
第百七十條　此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サン
トシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照
シテ處斷ス
第七節　官署及ヒ人ノ住居ヲ侵ス罪
第百七十一條　晝間故ナク官署及ヒ人ノ住居

官署二字削ル
再議

増減変換シテ行使シタル者ハ前條ノ例ニ照
各一等ヲ加フ

刑法草案審査局

シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建造物ニ入
リタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ
處ス
若シ左ニ記載シタル所為アル時ハ一等ヲ加
フ
一 門戸牆壁ヲ踰越損壊シ又ハ鎖鑰ヲ開キテ
入リタル時
二 兇器其他犯罪ノ用ニ供ス可キ物品ヲ携帯シ
タル時
三 暴行ヲ為シテ入リタル時
四 二人以上ニテ入リタル時
第百七十二條 夜間故ナク官署及ヒ人ノ住居
シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建造物ニ入
リタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處
ス
若シ前條ニ記載シタル加重ス可キ所為アル
時ハ一等ヲ加フ
第百七十三條 故ナク皇居禁苑離宮行在所及
ヒ山陵内ニ入リタル者ハ前二條ノ刑ニ照シ
各一等ヲ加フ
第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪
第百七十四條 官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋
倉庫其他ノ物件ニ施シタル封印ヲ破棄シタ
ル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス
若シ監守者自ラ犯シタル時ハ一等ヲ加フ
第百七十五條 官ノ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ

墻

情ヲ変換シテ行使シタル者ハ前ニ条ノ例ニ照
各一等ヲ加[illegible]

刑法審査局

盗取シ又ハ毀壊シタル者ハ盗罪及ヒ毀壊ノ各本條ニ照シ重キニ従テ處断ス

第百七十六條　監守者懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ其物件ヲ盗取毀壊スル犯人アルヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九節　公務ヲ行フヲ拒ム罪

第百七十七條　陸海軍ノ将校タル者出兵ヲ要求スル權アル官署ヨリ其要求ヲ受ケ之ヲ肯セサル時ハ二月以上二年以下ノ軽禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百七十八條　陸海軍ノ徴兵ニ編入セラル可キ者身躰ヲ毀傷シ又ハ疾病ヲ作為シ其他詐偽

シ其他詐偽ノ所為ヲ以テ免役ヲ圖リタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ニ囑託シ其姓名ヲ詐稱シ代テ徴募ニ應セシタル者亦同シ其囑託ヲ受テ徴募ニ應シタル者ハ第二百二十九條ノ例ニ照シテ處断ス

第百七十九條　醫師化學家其他職業ニ因テ官署ヨリ解剖鑒定又ハ撿査ヲ為ヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十條　裁判所ヨリ證人トシテ證據ヲ陳述スルコトヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ

増減変換シテ行使シタル者ハ前ニ條ノ例ニ照
各一等ヲ加

肯セサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十一條　傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ檢査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルコヲ令セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス
獸類傳染病流行ノ際獸醫此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ一等ヲ減ス

第四章　一般ノ信用ヲ害スル罪

第一節　貨幣ヲ偽造スル罪

第百八十二條　内國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ偽造シテ行使シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

再議

此條及ヒ銅貨ノ變ノ三罰金ヲ付ルハ用ヒ難シ依テ軽懲役トナシ前条モ重懲役トナシ罰金ヲ削ルハ

若シ變造シテ其價額量目ヲ增減シ行使シタル者ハ軽懲役ニ處ス

第百八十三條　内國ニ於テ通用スル外國ノ金銀貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ有期徒刑ニ處ス
若シ變造シテ行使シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス ~~二十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス~~

第百八十四條　官許ヲ得テ發行スル銀行ノ紙幣ヲ偽造シ若クハ變造シテ行使シタル者ハ内外國ノ區別ニ從ヒ前二條ノ例ニ照シテ處斷ス

第百八十五條　内國通用ノ銅貨ヲ偽造シテ行

増減變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

刑法草案審査局

使シタル者ハ軽懲役ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百八十六條　前數條ニ記載シタル貨幣ノ僞造變造已ニ成テ未タ行使セサル者ハ各本刑ニ照シ一等ヲ減シ其未タ成ラサル者ハ各二等ヲ減ス

若シ僞造ノ器械ヲ豫備シテ未タ着手セサル者ハ各三等ヲ減ス

第百八十七條　貨幣ヲ僞造變造スルノ情ヲ知テ雇ヲ受ケタル職工ハ前數條ニ記載シタル本犯ノ受ク可キ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

若シ職工ノ補助ヲ為シテ雜役ニ供シタル者ハ職工ノ刑ニ照シ一等又ハ二等ヲ減ス

第百八十八條　貨幣ヲ僞造變造スルノ情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者ハ僞造變造ノ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

第百八十九條　僞造變造ノ貨幣ヲ内國ニ輸入シタル者ハ僞造變造ノ本犯ト同ク論ス

第百九十條　情ヲ知テ僞造變造ノ貨幣ヲ取受シテ行使シタル者ハ僞造變造シテ行使シタル者ノ刑ニ照シ二等ヲ減ス

其未タ行使セサル者ハ三等ヲ減ス

第百九十一條　前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ

監視ニ付ス

第百九十二條　貨幣ヲ偽造變造シ及ヒ輸入取受シタル者未タ行使セサル前ニ於テ官ニ自首シタル時ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス

若シ職工雜役及ヒ房屋ヲ給與シタル者未タ行使セサル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免シ監視ニ付セス

第百九十三條　貨幣ヲ取受スルノ後ニ於テ始テ偽造又ハ變造ナルコトヲ知リ之ヲ行使シタル者ハ其價額二倍ノ罰金ニ處ス但其罰金ハ二圓以下ニ降スコトヲ得ス

第三節　官印ヲ偽造スル罪

第百九十四條　御璽國璽ヲ偽造シ又ハ其偽璽ヲ使用シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第百九十五條　各官署ノ印ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス

第百九十六條　産物商品等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ軽懲役ニ處ス

書籍什物等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第百九十七條　御璽國璽官印及ヒ記號印章ヲ盜用シタル者ハ前數條ニ記載シタル偽造ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

増減變換シテ行使シタル者ハ前ニ條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

刑法草案審査局

再議

若シ監守者自ラ犯シタル時ハ偽造ノ刑ニ同シ

第百九十八條　御璽國璽官印記號印章ノ影蹟ヲ盗用シタル者ハ前條ノ刑ニ同シ

第百九十九條　官ヨリ發行スル各種ノ印紙及ヒ郵便切手ヲ偽造シ又ハ其偽造品ヲ使用シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百條　已ニ貼用シタル各種ノ印紙及ヒ郵便切手ヲ再ヒ貼用シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百一條　此節ニ記載シタル軽罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照ス

再議

シテ處斷ス

第三節　官ノ文書ヲ偽造スル罪

第二百二條　詔書ヲ偽造シ又ハ増減変換シタル者ハ無期徒刑ニ処ス

其詔書ヲ毀棄シタル者亦同シ

第　條　官ノ文書其他官吏ノ公証シタル文券ヲ偽造シ又ハ増減変換シテ行使シタル者ハ軽懲役ニ処ス

其文券ヲ毀棄シタル者亦同シ

第　条　公債証券地券ヲ偽造シ又ハ増減変換シテ行使シタル者ハ軽懲役ニ処ス

若シ無記名ノ公債証書ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

第　条　官吏其掌ニ係ル文書ヲ偽造シ又ハ増減変換シテ行使シタル者ハ前二条ノ例ニ照シ各一等ヲ加

再議

其文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

第　條　官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ官印ヲ偽造シ又ハ盗用シタル者ハ偽造官印ノ各本条ニ照シ重キニ從テ処断ス

第　条　此ノ節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減軽ニ因テ軽罪ノ刑ニ処スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

司法省

第四節　私印私書ヲ偽造スル罪

第二百六條　他人ノ私印ヲ偽造シテ使用シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ノ私印又ハ印影ヲ盗用シタル者ハ前項ノ刑ニ照シ一等ヲ減ス

第二百七條　為替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス可キ證書又ハ金額ト交換ス可キ約定手形ヲ偽造シ行使シタル者ハ軽懲役ニ處ス

手形證書ニ記載シタル金額姓名年月日土地其他書中ノ條件ヲ變換シ又ハ詐偽ノ裏書ヲ為シテ行使シタル者亦同シ

第二百八條　賣買貸借贈遺交換其他權利義務ニ關スル證書ヲ偽造若クハ變換シテ行使シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其餘ノ私書ヲ偽造若クハ變換シテ行使シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

刑法草案審査局

第二百九條　此節ニ記載シタル軽罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第二百十條　此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ軽罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第五節　免状鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪

第二百十一條　官ノ免状又ハ鑑札ヲ偽造シテ行使シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

但官印ヲ偽造シ又ハ盗用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シテ處斷ス

第二百十二條　屬籍身分姓名ヲ詐稱シ其他詐偽ノ所為ヲ以テ免状鑑札ヲ受ケタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

官吏情ヲ知テ其免状鑑札ヲ下付シタル者ハ一等ヲ加フ

第二百十三條　公務ヲ免カル可キ為メ醫師ノ姓名ヲ用ヒ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ自己ノ為メニシ他人ノ為メニスルヲ分タス一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

醫師囑託ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル者ハ一等ヲ加フ

第二百十四條　陸海軍ノ徴兵ヲ免カル可キ為メ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者及ヒ嘱託ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル医師ハ前條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百十五條　免状鑑札及ヒ疾病ノ證書ニ記載シタル條件ヲ變換シテ行使シタル者ハ前數條ニ記載シタル偽造ノ刑ニ同シ

第六節　偽證ノ罪

第二百十六條　刑事ニ關スル證人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者被告人ヲ曲庇スル為メ事實ヲ掩蔽シテ故サラニ偽證ヲ為シタル時ハ左ノ例ニ照シテ處断ス

一　重罪ヲ曲庇スル為メ偽證シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二　軽罪ヲ曲庇スル為メ偽證シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

三　違警罪ヲ曲庇スル為メ偽證シタル者ハ違警罪ノ本條ニ依テ處断ス

第二百十七條　偽證ノ為メ被告人適當ノ刑ヲ免カレタル時ハ偽證者ノ刑前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百十八條　被告人ヲ陥害スル為メ故サラニ偽證ヲ為シタル者ハ左ノ例ニ照シテ處断ス

一重罪ニ陥ラシムル為メ偽證シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二軽罪ニ陥ラシムル為メ偽證シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

三違警罪ニ陥ラシムル為メ偽證シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百十九條 偽證ノ為メ被告人刑ニ處セラレタル後ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ偽證者ヲ其刑ニ反坐ス若シ反坐ノ刑前條ニ記載シタル偽證ノ刑ヨリ軽キ時ハ前條ノ刑ニ處ス

其刑期限内ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ現ニ經過シタル日數ニ照シテ反坐ノ刑期ヲ減スルヿヲ得但減シテ前條偽證ノ刑ヨリ降スヿヲ得ス

第二百二十條 偽證ノ為メ被告人死刑ニ處セラレタル時ハ反坐ノ刑一等ヲ減ス其未タ刑ヲ執行セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ二等ヲ減ス

若シ被告人ヲ死ニ陥ルヽノ目的ヲ以テ偽證ヲ為シタルノ證アル時ハ死刑ニ反坐ス其未タ刑ヲ執行セサル前ニ於テ発覺シタル時ハ一等ヲ減ス

司法省
刑法草案審査局
刑法草案審査局

後　前

第二百二十一條　民事商事又ハ行政裁判ニ關シテ僞證ヲ為シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百二十二條　鑑定又ハ通辯ノ為メ裁判所ニ呼出サレ詐僞ノ陳述ヲ為シタル者亦前數條ニ記載シタル僞證ノ例ニ照シテ處斷ス

第二百二十三條　僞證又ハ詐僞ノ鑑定通辯ヲ為シタル者其事件ノ裁判宣告ニ至ラサル前ニ於テ自首シタル時ハ其罪ヲ免ス

第二百二十四條　賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ僞證又ハ詐僞ノ鑑定通辯ヲ為サシメタル者亦僞證ノ刑ニ同シ

刑法草案審査局

第七節　度量衡ヲ僞造スル罪

第二百二十五條　度量衡ヲ僞造又ハ變造シテ其定規ヲ増減シ之ヲ販賣シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官ノ記號印章ヲ僞造又ハ盗用シタル時ハ僞造官印ノ本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第二百二十六條　僞造變造ノ情ヲ知テ其度量衡ヲ販賣シタル者ハ前條ノ刑ニ照シ一等ヲ減ス

第二百二十七條　商賈工匠定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所有シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ

刑法草案審査局

附加ス
若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス
第二百二十八條　人ノ囑託ヲ受ケテ度量衡ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ本犯ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

其囑託シタル犯人

第八節　身分ヲ詐稱スル罪

第二百二十九條　官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其属籍身分姓名年齢職業ヲ詐稱シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス
第二百三十條　官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽章若クハ内外國ノ勲章ヲ僣用シタル者ハ十五日以上二月以下ノ軽禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九節　公選ノ投票ヲ偽造スル罪

第二百三十一條　公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ハ一月以上一年以下ノ[illegible]禁錮ニ處シ二圓[illegible]
加[illegible]
第二[illegible]
算[illegible]
タル[illegible]
四圓[illegible]
第二百[illegible]十三條　調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所為アル

刑法草案審査局
刑法草案審査局

附加ス
若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第二百二十八條　人ノ囑託ヲ受ケテ度量衡ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ本犯ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

第八節　身分ヲ詐稱スル罪

第二百二十九條　官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其属籍身分姓名年齢職業ヲ詐稱シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十條　官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽章若クハ内外國ノ勲章ヲ僣用シタル

刑法草案審査局

者ハ十五日以上二月以下ノ軽禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九節　公選ノ投票ヲ偽造スル罪

第二百三十一條　公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ハ一月以上一年以下ノ軽禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十二條　投票ヲ檢査シ及ヒ其數ヲ計算スル任タル者其投票ヲ偽造シ又ハ増減シタル時ハ六月以上三年以下ノ軽禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十三條　調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所為アル

刑法草案審査局

第二百
又ハ
以上
円以
第

利ヲ得タル者ハ詐

ヲ受ケテ度量衡ヲ偽
詐託シタル犯人
従ノ刑ニ照シ各一

スル罪
対シ文書又ハ言語
名年齢職業ヲ詐称
圓以下ノ罰金ニ處

詐称シ又ハ官ノ服
章ヲ借用シタル

ノ軽禁錮ニ處シ二

ヲ附加ス
ヲ偽造スル罪
票ヲ偽造シ又ハ其
以上一年以下ノ軽
圓以下ノ罰金ヲ附

査シ及ヒ其數ヲ計
偽造シ又ハ増減シ
下ノ軽禁錮ニ處シ
金ヲ附加ス
リ投票ノ結局ヲ報
他詐偽ノ所為アル

第二編九節ニ記入スヘキ條
第二百三十二條　賄賂ヲ以テ投票ヲ為サシメ
又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ為シタル者ハ二月
以上二年以下ノ軽禁錮ニ處シ三円以上三十
円以下ノ罰金ヲ附加ス

時ハ一年以上五年以下ノ軽禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第五章 一般ノ健康ヲ害スル罪

第一節 阿片烟ヲ販賣スル罪

第二百三十四條 阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

税關ノ官吏情ヲ知テ阿片烟ヲ輸入セシメタル者ハ一等ヲ加フ

第二百三十五條 阿片烟ヲ吸食スルノ器具ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ重懲役ニ處ス

第二百三十六條 阿片烟ヲ吸食スル為メ房屋ヲ給與シテ利ヲ圖ル者ハ軽懲役ニ處ス

人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者亦同シ

第二百三十七條 現ニ阿片烟ヲ吸食シタル者ハ二年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二百三十八條 阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ所有シ又ハ受寄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二節 飲料ノ浄水ヲ汚穢スル罪

第二百三十九條 人ノ飲料ニ供スル浄水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フル能ハサルニ至ラシメタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十條 人ノ健康ヲ害スヘキ物品ヲ用

再議

ヒテ水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十一條　前條ノ罪ヲ犯スニ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本条ニ照シ重キニ從テ處斷ス

若シ人ヲ殺スノ意ニ出タル者ハ毒殺ヲ以テ論ス

第三節　傳染病豫防規則ニ關スル罪

第二百四十二條　船舶入港ノ際傳染病豫防ノ為メ一時禁止シタル規則ニ背キテ上陸シ又ハ物品ノ陸揚ヲ為シタル者ハ一月以上一年以下ノ軽禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十三條　船長自ラ前条ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯スヲ知テ禁止セサル者ハ前条ノ刑ニ照シ一等ヲ加フ

第二百四十四條　傳染病流行ノ際豫防規則ニ背キテ流行地方ヨリ他處ニ出タル者ハ十五日以上六月以下ノ軽禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十五條　獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ背キテ獸類ヲ他處ニ出シタル者ハ十一日以上二月以下ノ軽禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四節　危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物

司法省　刑法草案審査局
刑法草案審査局

司法省

品製造ノ規則ニ関スル罪

第二百四十六條 官許ヲ得スシテ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ二十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十七條 官許ヲ得テ前条ニ記載シタル製造所ヲ創設スト雖モ危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スル規則ニ背キタル者ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

第二百四十八條 前二條ノ罪ヲ犯シ又ハ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

再議

第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ薬劑ヲ販賣スル罪

第二百四十九條 人ノ健康ヲ害ス可キ物貨ナルコトヲ知テ之ヲ飲食物ニ混和シ販賣シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ其物品ヲ沒收ス

第二百五十條 規則ニ背キテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十一條 前二條ノ罪ヲ犯シ又ハ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第六節 私ニ醫業ヲ為ス罪

刑法草案審査局

再議

第二百五十二條　官許ヲ得スシテ醫業ヲ為シタル者ハ十一日以上二月以下ノ軽禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十三條　前條ノ犯人治療ノ方法ヲ誤リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ従テ處断ス

第六章　風俗ヲ害スル罪

第二百五十四條　公然猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ十五日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百五十五條　風俗ヲ害スル冊子圖畫其他猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百五十六條　賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又ハ博徒ヲ紹結シタル者ハ三月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百五十七條　財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ為シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其現場ニ在ル器具財物ヲ没收ス但飲食物ヲ賭スル者ハ其罪ヲ論セス
情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者亦同シ

第二百五十八條　財物ヲ醵集シ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ一月以

上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百五十九條 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ對シ公然不敬ノ所行ヲ為シタル者ハ十一日以上二月以下ノ軽禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ説教又ハ禮拜ヲ妨害シタル者ハ一月以上三月以下ノ軽禁錮ニ處シ又ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪

第二百六十條 埋葬ス可キ死屍ヲ毀棄シタル者ハ二月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十一條 墳墓ヲ發堀シテ棺槨又ハ死屍ヲ見ハシタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ死屍ヲ毀棄シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十二條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

第八章 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪

刑法草案審査局

第二百六十三條　偽計又ハ威力ヲ以テ穀類其他衆人ノ需用ニ缺ク可カラサル食用物及ヒ膏油薪炭ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

前項ニ記載シタル以外ノ商品ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一等ヲ減ス

第二百六十四條　偽計又ハ威力ヲ以テ糶賣又ハ入札ヲ妨害シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十五條　偽計又ハ威力ヲ以テ農工ノ業ヲ妨害シタル者ハ二十日以上四月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十六條　農工ノ雇人其雇賃ヲ増サシメ又ハ農工業ノ景況ヲ變セシムル爲メ雇主及ヒ他ノ雇人ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲シタル者ハ前條ノ刑ニ照シ一等ヲ加フ

第二百六十七條　雇主其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變スル爲メ雇人及ヒ他ノ雇主ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

第二百六十八條　虚偽ノ風説ヲ流布シテ穀類其他衆人需用物品ノ價直ヲ昂低セシメタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

再議

第九章 官吏瀆職ノ罪

第一節 官吏公益ヲ害スル罪

第二百六十九條 官吏故意ヲ以テ其管掌ニ係ル法律規則ヲ公布施行セス又ハ他ノ官吏ノ公布施行ヲ妨害シタル者ハ二月以上六月以下ノ軽禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十條 兵隊ヲ要求シ及ヒ之ヲ使用スルノ權アル官吏地方ノ騒擾其他兵權ヲ以テ鎮撫ス可キ時ニ當リ故サラニ其處分ヲ為サヽル者ハ三月以上三年以下ノ軽禁錮ニ處シ二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十一條 官吏其職務ニ関シ於テ商業ヲ為シタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス但自己所有地内ノ生産物ヲ販賣スル者ハ商業ヲ為スヲ以テ論スルコトヲ得ス

第二節 官吏人民ニ對スル罪

第二百七十二條 官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシテ其權利ナキ事ヲ行ハシメ又ハ其為ス可キ權利ヲ妨害シタル者ハ十一日以上二月以下ノ軽禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十三條 人ノ身體財産ヲ妨害スルノ犯人アルニ當リ檢事警察官吏其報告ヲ受ケ速ニ保護ノ處分ヲ為サヽル者ハ十五日以上

刑法草案審査局

ノ再議

三月以下ノ軽禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十四條 逮捕官吏法律ニ定メタル程式規則ヲ遵守セスシテ人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ人ヲ拘置シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但拘置ノ日數十日ヲ過ル毎ニ一等ヲ加フ

第二百七十五條 司獄官吏裁判宣告書ヲ檢視セス又ハ程式規則ヲ遵守セスシテ囚人ヲ拘置シ若クハ囚人ヲ出獄セシム可キノ命ヲ受ケ及ヒ刑期満限ノ時ニ至リ之ヲ放免セサル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

司法省

再議 原案

再議 原案ノ本條見合スヘシ

第何條 水火震災ノ際囚人ノ監禁ヲ解クヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル者ハ亦前條ニ照シ

第二百七十六條 前二條ノ官吏又ハ護送ノ者囚人ニ對シ苛刻ノ所為ヲ施シ若クハ傷害ヲ加ヘタル時ハ第三百二十條第三百二十一條第三百二十二條ノ例ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ

……事及ヒ警察官吏被……シムル為メニ暴行……ル者ハ三月以上四……圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ被告人ニ傷害ヲ加ヘタル時ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處断ス

刑法審査局

○再議

三月以下ノ軽禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十四條 逮捕官吏法律ニ定メタル程式規則ヲ遵守セスシテ人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ人ヲ拘置シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但拘置ノ日數十日ヲ過ル毎ニ一等ヲ加フ

第二百七十五條 司獄官吏裁判宣告書ヲ檢視セス又ハ程式規則ヲ遵守セスシテ囚人ヲ拘置シ若クハ囚人ヲ出獄セシム可キノ命ヲ受ケ及ヒ刑期滿限ノ時ニ至リ之ヲ放免セサル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

再議
原案

再議

第二百七十六條 前二條ノ官吏又ハ護送ノ囚人ニ對シ苛刻ノ所為ヲ施シ若クハ傷害ヲ加ヘタル時ハ第三百二十條第三百二十一條第三百二十二條ノ例ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

第二百七十七條 裁判官檢事及ヒ警察官吏被告人ニ對シ罪狀ヲ陳述セシムル為メニ暴行ヲ加ヘ又ハ陵虐ノ所為アル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ被告人ニ傷害ヲ加ヘタル時ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

第二百七十八條 裁判官故ナクシテ民事刑事ノ訴ヲ受理セス又ハ還延シテ審理セサル者ハ十五日以上三月以下ノ軽禁錮ニ処シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十九條 官吏人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ収受シ又ハ之ヲ聴許シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ処シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ不正ノ処分ヲ為シタル者ハ一等ヲ加フ

第二百八十條 裁判官民事ノ裁判ニ関シテ賄賂ヲ収受シ又ハ之ヲ聴許シタル者ハ前條ノ例ニ照シ一等ヲ加フ

第二百八十一條 裁判官検事警察官吏及ヒ参座刑事ノ裁判ニ関シテ賄賂ヲ収受シ又ハ之ヲ聴許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ処シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ被告人ヲ曲庇シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ処シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其被告人ヲ陥害シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ処シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ其枉断シタル所ノ刑此刑ヨリ重キ時ハ第二百十九條第二百二十條ノ例ニ照シテ反坐ス

第二百八十二條 裁判官検事警察官吏及ヒ参

司法省

再議

座賄賂ヲ收受聴許セスト雖ヒ情ニ徇カヒ又ハ怨ヲ挾サミ故サラニ被告人ヲ罪ニ出入シタル者ハ前條ニ記載シタル曲庇陥害ノ刑ニ處ス

第二百八十三條 前數條ニ記載シタル賄賂已ニ收受シタル者ハ之ヲ沒收シ費用シタル者ハ其價ヲ追徴ス

第三節 官吏財産ニ對スル罪

第二百八十四條 官吏自ラ監守スル所ノ金穀物件ヲ窃取シタル者ハ窃盜ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ

若シ此罪ヲ犯スニ因テ官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ毀棄シタル時ハ第二百四條ノ例ニ照シテ處断ス

第二百八十五條 監守ニ非サル官吏其官署ニ屬スル金穀物件ヲ窃取シタル者ハ窃盜ノ刑ニ照シ一等ヲ加フ

第二百八十六條 租税其他諸收入ノ入額ヲ徴收スル官吏故サラニ正數外ノ金穀ヲ徴收シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百八十七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三編 身躰財産ニ對スル重罪軽罪

第一章 身躰ニ對スル罪

第一節 謀殺故殺ノ罪

第二百八十八條 豫メ謀テ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ノ罪ト為シ死刑ニ處ス

第二百八十九條 毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ス

第二百九十條 故意ヲ以テ人ヲ殺シタル者ハ故殺ノ罪ト為シ無期徒刑ニ處ス

第二百九十一條 支解折割其他慘刻ノ所為ヲ以テ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

第二百九十二條 重罪軽罪ヲ犯スニ便利ナル為メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カルヽ為メ人

刑法草案審査局

司法省

刑法草案審査局

ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

第二百九十三條　人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘導シテ危害ニ陥レ死ニ致シタル者ハ故殺ヲ以テ論シ其豫メ謀ル者ハ謀殺ヲ以テ論ス

第二百九十四條　謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺シタル者ハ仍ホ謀故殺ヲ以テ論ス

第二節　毆打創傷ノ罪

第二百九十五條　人ヲ毆打創傷シ因テ死ニ致シタル者ハ重懲役ニ處ス

第二百九十六條　人ヲ毆打創傷シ其両目ヲ瞎シ両耳ヲ聾シ又ハ両肢ヲ折リ及ヒ舌ヲ断チ陰陽ヲ毀敗シ若クハ知覺精神ヲ喪失セシメ篤疾ニ致シタル者ハ軽懲役ニ處ス

司法省
刑法草案審査局

其一目ヲ瞎シ一耳ヲ聾シ又ハ一肢ヲ折リ其他身體ヲ残虧シ廢疾ニ致シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二百九十七條　人ヲ毆打創傷シ二十日以上ノ時間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ営ムヿ能ハサルニ至ラシメタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

疾病休業ニ至ラスト雖モ身體ニ創傷ヲ成シタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處ス

第二百九十八條　豫メ謀テ人ヲ毆打創傷シ休

刑法草案審査局

業癈篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ前數條ノ刑
ニ照シ各一等ヲ加フ
第二百九十九條 重罪軽罪ヲ犯スニ便利ナル
為メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カルヽ為メ人
ヲ毆打創傷シタル者ハ前條ノ例ニ同シ
盜人ヲ死傷ニ致シタル者ハ強盜ノ本條ニ従
第三百條 毆打ニ因リ誤テ他人ヲ創傷シタル
者ハ仍ホ毆打創傷ノ本刑ヲ科ス
第三百一條 二人以上共ニ人ヲ毆打創傷シタ
ル者ハ現ニ手ヲ下シ傷ヲ成スノ軽重ニ従テ
各自ニ其刑ヲ科ス若シ共毆シテ傷ヲ成スノ
軽重ヲ知ルヿ能ハサル時ハ其重傷ノ刑ニ照
シ一等ヲ減ス但教唆者ハ減等ノ限ニ在ラス
第三百二條 二人以上共ニ人ヲ毆打スルニ當
リ自ラ人ヲ傷セスト雖モ幇助シテ傷ヲ成サ
シメタル者ハ現ニ傷ヲ成シタル者ノ刑ニ一
等ヲ減ス
第三百三條 健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シテ
人ヲ疾苦セシメタル者ハ豫メ謀テ毆打創傷
スルノ刑ニ照シテ處斷ス
第三百四條 人ヲ殺スノ意ニ非スト雖モ故サ
ラニ詐稱誘導シテ危害ニ陷レ因テ疾病死傷
ニ致シタル者ハ其豫メ謀ルト否トヲ區別シ
毆打創傷ノ刑ニ照シテ處斷ス
第三節 殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪

刑法草案審査局
司法省

第三百五條 自已ノ身躰ニ暴行ヲ受ルニ因リ直チニ怒ヲ發シ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但不正ノ所為ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

第三百六條 人ノ暴行ヲ受ルヲ見テ直チニ怒ヲ發シ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ情状ニ因リ其罪ヲ宥恕スルヿヲ得

第三百七條 毆打シテ互ニ創傷シ其手ヲ下スノ先後ヲ知ルヿ能ハサル者ハ各本刑ヲ宥恕スルヿヲ得

第三百八條 本夫其婦ノ姦通ヲ覺知シ姦所ニ於テ直チニ姦夫又ハ姦婦ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但本夫先ニ姦通ヲ縱容シタル者ハ此限ニ在ラス

第三百九條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入リ若クハ踰越損壞セントスル者ヲ防止スル為メ之ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス

第三百十條 前數條ニ記載シタル宥恕ス可キ罪ハ各本刑ニ照シ二等又ハ三等ヲ減ス

第三百十一條 身躰生命ヲ正當ニ防衛シ已ムヿヲ得サルニ出テ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ自已ノ為メニシ他人ノ為メニスルヲ分タス其罪ヲ論セス但不正ノ所為ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

第三百十二條 左ノ諸件ニ於テ已ムヿヲ得サルニ出テ人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ論セス

生命ノ場合ニハ他人ノ為メニ死ニ(?)…内ニアリ財産ノ場合ニハ自己ノ分ミナリ

三百二條ノ意ヲ此ニ用ユ

一動産不動産ニ對シ暴行ヲ為ス者又ハ動産
不動産ヲ放火スル者ヲ防止スルニ出タル
時
二盗犯ヲ防止シ又ハ盗賊ヲ取還スルニ出タ
ル時
三夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入リ若
クハ踰越損壊スル者ヲ防止スルニ出タル
時
第三百十三條　身躰財産ヲ防衛スルニ出ルト
雖モ已ムヲ得サルニ非スシテ害ヲ暴行人
ニ加ヘ又ハ危害已ニ去リタル後ニ於テ勢ニ
乗シ仍ホ害ヲ暴行人ニ加ヘタル者ハ不論罪
ノ限ニ在ラス但第三百十條ノ例ニ照シ其罪

再議

ヲ宥恕スルヿヲ得
第四節　過失殺傷ノ罪
第三百十四條　疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守
セス過失ニ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ二月
以上一年以下ノ軽禁錮ニ處シ又ハ十圓以上
百圓以下ノ罰金ニ處ス
第三百十五條　過失ニ因テ人ヲ創傷シ癈篤疾
ニ致シタル者ハ一月以上六月以下ノ軽禁錮
ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處
ス
第三百十六條　過失ニ因テ人ヲ創傷シ疾病休業
ニ至ラシメタル者ハ十一日以上二月以下ノ
軽禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰

刑法草案審査局
司法省

金ニ處ス

第五節 自殺ニ關スル罪

第三百十七條 人ヲ教唆シテ自殺セシメタル者又ハ囑託ヲ受ケテ自殺人ノ為メニ手ヲ下シタル者ハ六月以上三年以下ノ軽禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其他自殺ノ補助ヲ為シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百十八條 自己ノ利慾ヲ逞スルノ意ニ出テ人ヲ教唆シテ自殺セシメタル者ハ重懲役ニ處ス

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

第三百十九條 擅ニ現行犯ニ非サル人ヲ逮捕シ又ハ擅ニ人ヲ私家ニ監禁シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過ル每ニ一等ヲ加フ

第三百二十條 擅ニ人ヲ監禁制縛シテ毆打拷責シ又ハ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所為ヲ施シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百二十一條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ創傷シ疾病休業廢篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

第三百二十二條 擅ニ人ヲ監禁シ水火震災ノ際其監禁ヲ解クコトヲ怠リ因テ死傷ニ致シタ

ル者亦前條ノ例ニ同シ

第七節　脅迫ノ罪

第三百二十三條　人ヲ殺サント脅迫シ又ハ其住居シタル家屋ニ放火セント脅迫シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

毆打創傷其他暴行ヲ加ヘントシ脅迫シ又ハ財産ニ放火シ及ヒ毀壞劫掠セントシ脅迫シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百二十四條　兇器ヲ持シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百二十五條　親屬ニ害ヲ被ラシム可キ事ヲ以テ脅迫シタル者ハ直チニ本人ニ對シ脅迫シタル罪ト同シク前二條ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百二十六條　前數條ノ罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第八節　墮胎ノ罪

第三百二十七條　懷胎ノ婦女藥物ヲ用ヒ又ハ其他ノ方法ヲ以テ墮胎シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百二十八條　藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎セシメタル者ハ前條ノ刑ニ同シ因テ婦女ヲ死ニ致シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百二十九條　醫師穏婆又ハ薬商前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百三十條　懐胎ノ婦女ヲ威逼シ又ハ詐騙シテ墮胎セシメタル者ハ一年以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十一條　懐胎ノ婦女ナル丁ヲ知テ毆打其他暴行ヲ加ヘ因テ墮胎ニ至ラシメタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス其故サラニ墮胎セシムルノ意ニ出タル者ハ軽懲役ニ處ス

第三百三十二條　前二條ノ罪ヲ犯シ因テ廃篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第九節　幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

第三百三十三條　八歳ニ滿サル幼者ヲ遺棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス自ラ生活スル丁能ハサル老者疾病者ヲ遺棄シタル者亦同シ

第三百三十四條　八歳ニ滿サル幼者又ハ老疾者ヲ寥闃無人ノ地ニ遺棄シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十五條　給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ受ケ保養ス可キ者前二條ノ罪ヲ犯シタル時ハ各一等ヲ加フ

第三百三十六條　幼者老疾者ヲ遺棄シテ之ヲ廃疾ニ致シタル者ハ軽懲役ニ處シ篤疾ニ致

刑法草案審査局

再議

ミタル者ハ重懲役ニ處ス因テ死ニ致シタル
者ハ有期徒刑ニ處ス

第三百三十七條　自己ノ所有地又ハ管守ス可
キ地内ニ遺棄セラレタル幼者老疾者アルヿ
ヲ覺知シテ之ヲ扶助セス又ハ官署ニ申告セ
サル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス
若シ疾病ニ罹リ前項ノ地内ニ昏倒スル者ア
ルヿヲ覺知シテ扶助又ハ申告セサル者亦同
シ

第十節　幼者ヲ畧取誘拐スル罪

第三百三十八條　十二歳ニ満サル幼者ヲ畧取
又ハ誘拐シテ自ラ藏匿シ又ハ他人ニ交付シ
タル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ
二十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百三十九條　十二歳以上二十歳ニ満サル
幼者ヲ畧取シテ自ラ藏匿シ又ハ他人ニ交付
シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處
シ十圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其誘
拐シテ自ラ藏匿シ又ハ他人ニ交付シタル者
ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以
上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十條　畧取誘拐シタル幼者ナルヿヲ
知テ自己ノ家属僕婢ト為シ又ハ其他ノ名稱
ヲ以テ之ヲ收受シタル者ハ畧取誘拐ノ刑ニ
照シ各一等ヲ減ス

第三百四十一條　前數條ニ記載シタル畧取誘

拐ノ罪ハ被害者又ハ其親属ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但畧取誘拐セラレタル幼者式ニ従テ婚姻ヲ為シタル時ハ其罪ヲ論セス

第三百四十二條 二十歳ニ満サル幼者ヲ畧取誘拐シ因テ外國人ニ交付シタル者ハ軽懲役ニ處ス

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪

第三百四十三條 十二歳ニ満サル男女ニ對シ猥褻ノ所行ヲ為シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十四條 十二歳ニ満サル男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十五條 十二歳以上ノ婦女ニ對シテ強姦シタル者ハ軽懲役ニ處ス

方畧ヲ用ヒテ人ヲ昏睡セシメ又ハ精神ヲ錯亂セシメテ姦淫シタル者ハ強姦ヲ以テ論ス

第三百四十六條 十二歳ニ満サル幼女ヲ姦淫シタル者ハ軽懲役ニ處ス若シ強姦シタル者ハ重懲役ニ處ス

第三百四十七條 前數條ノ罪ハ被害者又ハ其親属ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第三百四十八條 前數條ノ罪ヲ犯シ因テ人

刑法草案審査局

再議

ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス但強姦ニ因テ人ヲ癈篤疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百四十九條 自己ノ利益ヲ圖リ十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百五十條 有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル者亦同シ

有夫姦ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス若シ本夫先ニ其姦ヲ縱容シタル者ハ告訴ノ効

ナシ

第三百五十一條 配偶者アル者重ネテ婚姻ヲ為シタル時ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第十二節 誣告及ヒ誹毀ノ罪

第三百五十二條 不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告シタル者ハ第二百十八條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百五十三條 誣告ヲ為スト雖モ被告人ノ推問ヲ始メサル前ニ於テ誣告者自首シタル時ハ其罪ヲ論セス

第三百五十四條 誣告ニ因テ被告人刑ニ處セラレタル時ハ第二百十九條第二百二十條ニ

官吏ニ對スヘ侮辱ハ一月ヨリ刑ヲ始ム故ニ演説書画ヲ以刑トナス凡人ハ罵詈ヲ違警罪トナス故ニ演説ト書画ト分チ両刑トナシ仍ホ侮辱ヨリ軽クス
再議

記載シタル例ニ照シテ誣告者ヲ反坐ス

第三百五十五條　悪事醜行ヲ摘發シテ人ヲ誹毀シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハス左ノ例ニ照シテ處斷ス

一　公然ノ演説ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二　書類畫圖ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ作為シテ人ヲ誹毀シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百五十六條　死者ヲ誹毀シタル者ハ故サラニ誣罔ニ出タルニ非サレハ前條ノ例ニ照シテ處斷スルヿヲ得ス

司法省

再議

第三百五十七條　醫師藥商穩婆又ハ代言人代書人若クハ神官僧侶其身分職業ニ於テ委託ヲ受ケタル事ニ因リ知得タル陰私ヲ故サラニ漏告シタル者ハ誹毀ヲ以テ論シ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但裁判所ノ呼出ヲ受テ事實ヲ陳述スル者ハ此限ニ在ラス

第三百五十八條　此節ニ記載シタル誹毀ノ罪ハ被害者又ハ死者ノ親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第十三節　祖父母父母ニ對スル罪

第三百五十九條　子孫其祖父母父母ヲ謀殺故

刑法草案審查局

再議
原案ノ通

殺シタル者ハ死刑ニ處ス

其自殺ニ関スル罪ハ凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ

第三百六十條 子孫其祖父母父母ヲ毆打創傷若クハ其健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シ其他監禁脅迫及ヒ遺棄誣告誹毀等ノ罪ヲ犯シタル者ハ各本條ニ記載シタル凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ但廢疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百六十一條 子孫其祖父母父母ニ對シ衣食ヲ供給セス其他必要ナル奉養ヲ缺キタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以

刑法草案審査局

原案ノ通リナス
再議

上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ疾病ニ罹リ及ヒ廢篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ前条ノ例ニ同シ

第三百六十二條 祖父母父母ニ對シタル殺傷ノ罪ハ特別ノ宥恕及ヒ不論罪ノ例ヲ用フルコトヲ得ス但其犯ス時知ラサル者ハ此限ニ在ラス

第二章 財産ニ對スル罪

第一節 竊盜ノ罪

第三百六十三條 人ノ所有物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪ト為シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十四條 水火震災其他非常ノ變ニ乘

刑法草案審査局

シテ窃盗ヲ犯シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十五條　門戸牆壁ヲ踰越損壊シ若クハ鎖鑰ヲ開キ邸宅倉庫ニ入リ窃盗ヲ犯シタル者ハ前条ノ刑ニ同シ

第三百六十六條　二人以上前二条ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百六十七條　兇器ヲ携帯シテ人ノ住居シタル邸宅ニ入リ窃盗ヲ犯シタル者ハ軽懲役ニ處ス

第三百六十八條　自己ノ所有物ト雖モ典物トシテ人ニ交付シ又ハ官署ノ命ニ因リ他人ノ看守セシメタル時之ヲ窃取シタル者ハ窃盗ヲ以テ論ス

第三百六十九條　田野ニ於テ穀類菜菓其他ノ産物ヲ窃取シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百七十條　山林ニ於テ竹木礦物其他ノ産物ヲ窃取シ又ハ川澤池沼湖海ニ於テ人ノ生養シ若クハ營業ニ関シタル産物ヲ窃取シタル者ハ前條ノ刑ニ同シ

第三百七十一條　牧場ニ於テ牧養ノ獣類ヲ窃取シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百七十二條　此節ニ記載シタル軽罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例

刑法草案審査局

ニ照シテ處斷ス

第三百七十三條　此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三百七十四條　夫婦祖父母父母子孫及ヒ其配偶者又ハ同居ノ兄弟姉妹互ニ其財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論スルノ限ニ在ラス

若シ他人其共犯ト為テ財物ヲ分チタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス

第二節　強盜ノ罪

第三百七十五條　人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘテ財物ヲ強取シタル者ハ強盜ノ罪ト為シ輕懲役ニ處ス

第三百七十六條　強盜左ニ記載シタル情狀アル者ハ一個毎ニ一等ヲ加フ

一　二人以上共ニ犯シタル時

二　兇器ヲ携帶シテ犯シタル時

第三百七十七條　強盜人ヲ傷シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百七十八條　強盜ヲ犯シ因テ強姦シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百七十九條　竊盜財ヲ得テ其取還ヲ拒ク為メ臨時暴行脅迫ヲ為シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

第三百八十條　藥酒等ヲ用ヒ人ヲ昏迷セシメ

刑法草案審査局
司法省

其財物ヲ奪取シタル者ハ強盗ヲ以テ論シ軽懲役ニ處ス

第三百八十一條　此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減軽ニ因テ軽罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三節　遺失物埋藏物ニ関スル罪

第三百八十二條　遺失及ヒ漂流ノ物品ヲ拾得テ隠匿シ本主ニ還付セス又ハ官署ニ申告セサル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百八十三條　他人ノ所有地内ニ於テ埋藏ノ物品ヲ掘得テ隠匿シタル者ハ前條ノ刑ニ同シ

刑法草案審査局

第三百八十四條　此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者第三百七十四條ニ掲ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第四節　家資分散ニ関スル罪

第三百八十五條　家資分散ノ際其財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虚偽ノ負債ヲ増加シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

情ヲ知テ虚偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介ヲ為シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百八十六條　家資分散ノ際帳簿ノ類ヲ藏匿毀棄シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人又ハ数人ニ其負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處

刑法草案審査局

ス

第五節　詐欺取財及ヒ受寄財物ニ関スル罪

第三百八十七條　人ヲ欺罔又ハ恐喝シテ財物若クハ證書類ヲ騙取シタル者ハ詐欺取財ノ罪ト為シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ此條ノ罪ヲ犯ス為メ官私ノ文書ヲ偽造變換シタル者ハ偽造ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第三百八十八條　幼者ノ知慮浅薄又ハ人ノ精神錯乱シタルニ乗シテ其財物若クハ證書類ヲ授與セシメタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百八十九條　物件ヲ販賣シ又ハ交換スルニ當リ其物質ヲ變シ若クハ分量ヲ偽テ人ニ交付シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十條　他人ノ動産不動産ヲ冒認シテ販賣交換シ又ハ抵當典物ト為シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

自己ノ不動産ト雖モ已ニ抵當典物ト為シタルヲ欺隠シテ他人ニ賣與シ又ハ重ネテ抵當典物ト為シタル者亦同シ

第三百九十一條　前數條ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三百九十二條　受寄ノ財物及ヒ借用物又ハ典物其他委託ヲ受ケタル金額物件ヲ費消シタ

ル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス若シ騙取拐帯其他詐欺ノ所為アル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十三條　自己ノ所有ニ係ルト雖モ官署ヨリ差押ヘタル物件ヲ藏匿脱漏シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス但家資分散ノ際ニ於テ此罪ヲ犯シタル者ハ第三百八十五條ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百九十四條　此節ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百九十五條　此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者第三百七十四條ニ掲ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第六節　贓物ニ関スル罪

第三百九十六條　強竊盗ノ贓物ナルヿヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ為シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ三円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス
余ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三百九十七條　詐欺取財其他ノ犯罪ニ関シタル物件ナルヿヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買若クハ牙保ヲ為シタル者ハ十一日以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第七節 放火失火ノ罪

第三百九十八條 火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋ヲ焼毀シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百九十九條 火ヲ放テ人ノ住居セサル家屋其他ノ建造物ヲ焼毀シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第四百條 火ヲ放テ發屋及ヒ柴草肥料等ヲ貯フル屋舍ヲ焼毀シタル者ハ重懲役ニ處ス

第四百一條 火ヲ放テ人ヲ乘載シタル船舶流車ヲ焼毀シタル者ハ死刑ニ處ス
其人ヲ乘載セサル船舶流車ニ係ル時ハ重懲役ニ處ス

第四百二條 火ヲ放テ山林ノ竹草木田野ノ穀麥又ハ露積シタル柴草竹木其他ノ物件ヲ焼燬シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第四百三條 火ヲ放テ自己ノ家屋ヲ焼燬シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第四百四條 放火ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四百五條 火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ焼燬シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百六條 火藥其他激発ス可キ物品又ハ煤氣井蒸氣罐ヲ破裂セシメテ人ノ家屋財産建造物船舶等ヲ毀壞シタル者ハ其故意ニ出ルト過失トヲ分テ放火失火ノ例ニ照シテ處斷ス

第八節　決水ノ罪

第四百七條　堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞シテ人ノ住居シタル家屋ヲ流失シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

若シ人ノ住居セサル家屋其他ノ建造物ヲ流失シタル者ハ重懲役ニ處ス

第四百八條　堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シテ田畝礦坑牧場等ヲ荒廢シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第四百九條　他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖ル為メ堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ其他水利ヲ妨害シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

刑法草案審査局

第四百十條　過失ニ因テ水害ヲ起シタル者ハ失火ノ例ニ照シテ處斷ス

第九節　船舶ヲ覆沒スル罪

第四百十一條　衝突其他ノ所為ヲ以テ故サラニ人ヲ乘載シタル船舶ヲ覆沒シタル者ハ死刑ニ處ス但船中死亡ナキ時ハ無期徒刑ニ處ス

第四百十二條　前條ノ所為ヲ以テ人ヲ乘載セサル船舶ヲ覆沒シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第十節　家屋物品及ヒ動植物ヲ毀壞殘害スル罪

第四百十三條　故意ヲ以テ人ノ家屋其他ノ建造

刑法草案審査局

再議

物ヲ毀壞シタル者ハ一月以上五年以下ノ重
禁錮ニ處シ二圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附
加ス
因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各
本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス
第四百十四條　故意ヲ以テ人ノ家屋ニ屬スル
牆壁及ヒ園池ノ裝飾又ハ田畝ノ樊圍牧場ノ
柵欄ヲ毀壞シタル者ハ十一日以上三月以上
ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ
罰金ニ處ス
第四百十五條　故意ヲ以テ人ノ稼穡竹木其他
需用ノ植物ヲ毀損又ハ荒殘シタル者ハ十一
日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以
上三十圓以下ノ罰金ニ處ス
第四百十六條　故意ヲ以テ土地ノ經界ヲ表シ
タル物件ヲ毀壞又ハ移轉シタル者ハ一月以
上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓
以下ノ罰金ヲ附加ス
第四百十七條　故意ヲ以テ人ノ器具物品ヲ毀
棄損壞シテ其用ニ適セサラシメタル者ハ十
一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓
以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス
第四百十八條　故意ヲ以テ人ノ牛馬ヲ殺害シ
タル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ
二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
第四百十九條　故意ヲ以テ前條ニ記載シタル

刑法草案審査局

再議
原案ノマヽ

以外ノ家畜ヲ殺害シタル者ハ二圓以上二十
圓以下ノ罰金ニ處ス但被害者ノ告訴ヲ待テ
其罪ヲ論ス

第四百二十條 故意ヲ以テ人ノ權利義務ニ關スル證書類ヲ毀棄滅盡シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス

刑法草案審査局

司法省

第四編 違警罪

第四百二十一條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

一 規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ物品ヲ市街ニ運搬シタル者

二 規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ物品又ハ自ラ火ヲ發スヘキ物品ヲ貯藏シタル者

三 官許ヲ得スシテ烟火ヲ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者

四 人家稠密ノ場所ニ於テ濫リニ烟火其他火器ヲ玩ヒタル者

刑法草案審査局

五 蒸氣器械其他烟筒火竈ヲ建造修理シ及ヒ掃除スル規則ヲ遵守セサル者

六 官署ノ督促ヲ肯セスシテ崩壊セントスル家屋牆壁ノ修理ヲ為サヽル者

七 官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シタル者

八 自己ノ所有地内ニ死屍アルヲ知テ官署ニ申告セス又ハ他所ニ移シタル者

九 人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ至ラサル者

十 密ニ賣淫ヲ為シ又ハ其宿所ヲ貸シタル者

十一 人ノ住居セサル家屋内ニ潜伏シタル者

十二 定リタル住居ナク平常營生ノ産業ナクシテ諸方ニ徘徊スル者

十三 官許ノ墓地外ニ於テ私ニ埋葬シタル者

十四 違警罪ノ犯人ヲ曲庇スル為メ偽證ヲ為シタル者但被告人偽證ノ為メ刑ヲ免カレタル時ハ第二百十七條ノ例ニ従フ

第四百二十二條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ三日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ科料ニ處ス

一 人家ノ近傍又ハ山林田野ニ於テ濫リニ火ヲ焚ク者

二 水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦スヘキノ求ヲ受ケ傍觀シテ之ヲ肯セサル者

三 腐敗物其他健康ヲ害スヘキ飲食物ヲ販賣シタル者

四 健康ヲ保護スル為メ設ケタル規則又ハ傳

刑法草案審査局

染病豫防規則ニ背キタル者
五人ノ通行スヘキ場所ニアル危険ノ井溝其
他凹所ニ蓋又ハ防圍ヲ為サヽル者
六路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ嗾シ又ハ驚逸
セシメタル者
七發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セシメタル
者
八狂犬猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ路上ニ放チタル
者
九變死人ノ檢視ヲ受スシテ埋葬シタル者
十[illegible]集會シテ官署ヨリ退散スヘキ命ニ従
ハサル者
十一墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損又ハ汚瀆シ
タル者
十二神祠佛堂其他公ノ建造物ヲ汚損シタル
者
十三公然人ヲ罵詈嘲弄シタル者但訴ヲ待テ
其罪ヲ論ス
第四百二十三條 左ノ諸件ヲ犯者ハ一日以
上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ二十錢以上一
圓二十五錢以下ノ科料ニ處ス
一濫リニ車馬ヲ疾驅シテ行人ノ妨害ヲ為シ
タル者
二制止ヲ肯セスシテ人ノ群集シタル場所ニ
車馬ヲ牽キタル者
三夜中無提燈ニテ車馬ヲ疾驅スル者

刑法草案審査局

四木石等ヲ道路ニ堆積シテ防圍ヲ設ケス又
ハ標識ノ點燈ヲ怠リタル者
五路上ノ常燈ヲ消シタル者
六瓦礫ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者
七禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ之ヲ取除
カサル者
八汚穢物ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者
九警察ノ規則ニ背キテ工商ノ業ヲ為シタル者
十醫師穏婆急病ノ時事故ナクシテ人ノ招キ
ニ應セサル者
十一死亡ノ申告ヲ為サスシテ埋葬シタル者
十二流言浮説ヲ為シテ人ヲ誑惑シタル者
十三私有地外ヘ濫リニ家屋墻塀ヲ設ケ又ハ

軒楹ヲ出シタル者
十四官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ床店等
ヲ開キタル者
十五路上ノ植木市街ノ常燈及ヒ厠場等ヲ毀
損シタル者
十六道路橋梁其他ノ場所ニ榜示シタル通行
禁止及ヒ指道標ノ類ヲ毀棄汚損シタル者
第四百二十四條左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日ノ
拘留ニ處シ又ハ十錢以上一圓以下ノ科料ニ
處ス
一飲食物ノ分量ヲ増加スル為メ他物ヲ混合
シテ販賣シタル者
二官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價以上

ニ販賣シタル者

三 渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通行錢ヲ取リ又ハ故ナク通行ヲ妨ケタル者

四 渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フ可キ場所ニ於テ其定價ヲ出サスシテ通行シタル者

五 路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ為シタル者

六 妄ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符咒等ヲ為シ人ヲ惑ハシテ利ヲ圖ル者

七 官許ヲ得スシテ劇場其他觀物場ヲ開キ及ヒ其規則ニ違背キタル者

八 溝渠下水ヲ毀損シ又ハ官署ノ督促ヲ受ケテ溝渠下水ヲ浚ハサル者

九 制止ヲ肯セスシテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列シタル者

十 官許ヲ得スシテ獸類ヲ官有地ニ放チ又ハ牧養シタル者

十一 身體ニ刺文ヲ為シ及ヒ之ヲ業トスル者

十二 他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者

十三 他人ノ繫キタル舟筏ヲ解放シタル者

第四百二十五條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ五錢以上五十錢以上ノ科料ニ處ス

一 橋梁又ハ堤防ノ害ト為ルヘキ場所ニ舟筏ヲ繫キタル者

二 牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横タヘ又ハ本

刑法草案審査局

石薪炭等ヲ堆積シテ往来ノ妨ヲ為シタル者

三車馬ヲ並ヘ牽テ人ノ通行ヲ妨ケタル者

四水路ニ於テ舟ヲ並ヘ通船ノ妨ヲ為シタル者

五氷雪塵芥等ヲ路上ニ投棄シタル者

六官署ノ督促ヲ受テ道路ノ掃除ヲ為サヽル者

七制止ニ違ヒテ路上ニ遊戯ヲ為シ往来ヲ妨タル者

八牛馬ヲ牽キ又ハ繋クヿヲ忽カセニシテ行人ノ妨害ヲ為シタル者

九出入ヲ禁止シタル場所ニ濫リニ出入シタル者

十通行禁止ノ榜示ヲ犯シテ通行シタル者

十一道路ニ於テ放歌高聲ヲ發シテ制止ヲ肯セサル者

十二酩酊シテ路上ニ喧噪シ又ハ醉臥シタル者

十三人家ノ牆壁ニ貼紙及ヒ楽書シタル者

十四邸宅ノ番号標札招牌又ハ貸家賣家ノ貼紙其他報告ノ榜標等ヲ毀損シタル者

十五他人ノ田野園囿ニ於テ菜菓ヲ採食シ又ハ花卉ヲ折採シタル者

十六公園ノ規則ヲ犯シタル者

十七通路ナキ他人ノ田畝ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ牽入レタル者

刑法草案審査局

再議

第四百二十六條　各地方ノ便宜ニヨリ施行スル所ノ違警罪目ヲ犯シタル者ハ犯情ノ軽重ニ従ヒ一日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス